

(別紙)

[第1回倉吉市定住自立圏共生ビジョン懇談会 (H22.9.24) 会長決定事項]

倉吉市定住自立圏共生ビジョン懇談会 (部会) 委員名簿

1 医療・福祉・教育部会

(順不同・敬称略)

職名	氏名	備考
委員	小谷 次雄	(部会長)
委員	桑本 圭二	(副部会長)
委員	池田 宣之	
委員	森本 勤子	
委員	村島 満	
計	5名	

2 産業振興・地産地消部会

(順不同・敬称略)

職名	氏名	備考
委員	山脇 誠	(部会長)
委員	谷本 八郎	(副部会長)
委員	岩崎 元孝	
委員	上本 武	
委員	岸本 康子	
委員	遠藤 公章	
委員	高塚 良平	
計	7名	

3 交通・移住・情報部会

(順不同・敬称略)

職名	氏名	備考
委員	福井 恒美	(部会長)
委員	米田 功	(副部会長)
委員	山下 昇	
委員	青木 雅彦	
委員	福井 利明	
計	5名	

(資料1)

鳥取県中部定住自立圏共生ビジョン策定 のための概況まとめ

平成22年10月

鳥取県 倉吉市

目 次

第1章 中部定住自立圏の概況	1
I. 定住自立圏の名称及び特徴	1
1. 定住自立圏の特徴	1
2. 定住自立圏を構成する市町	1
II. 圏域の状況	1
1. 地勢	1
2. 人口	2
3. 医療分野	5
4. 福祉分野	5
5. 教育分野	6
6. 産業振興分野	6
7. 地域公共交通	6
8. 地産地消	7
9. 移住・交流	7
10. 広報	7
11. 人材	7

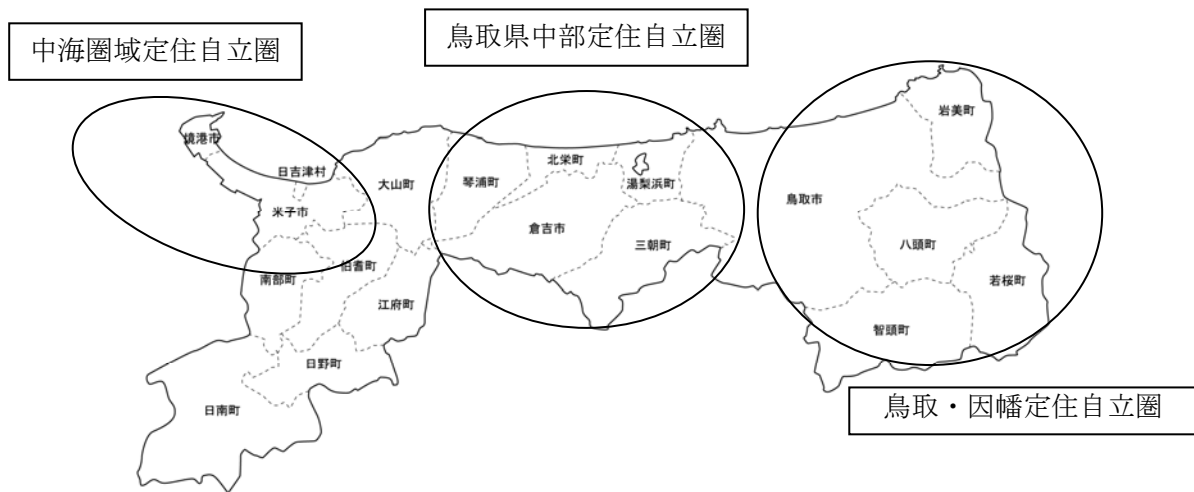
第1章 中部定住自立圏の概況

I. 定住自立圏の名称及び特徴

1. 定住自立圏の特徴

鳥取県中部定住自立圏は、倉吉市を中心市とする1市4町で構成された圏域となっています。

県内では、松江市、米子市を中心市とする中海圏域と、鳥取市を中心市とする鳥取・因幡圏域が存在し、タイプとしては、中海圏域が県境型・複眼型、鳥取・因幡圏域が大規模中心市型となっており、中部圏域はコンパクトな自立圏域をめざす「小規模中心市型」となっています。



2. 定住自立圏を構成する市町

本圏域は、倉吉市、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町で構成されています。

II. 圏域の状況

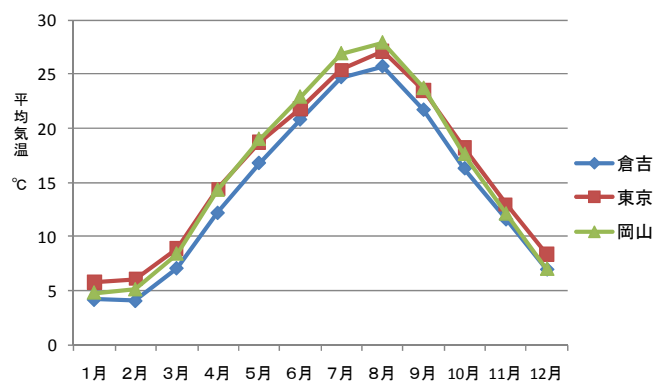
1. 地勢

○面積・位置

本圏域は、鳥取県の中央部に位置し、北部は日本海沿岸に、東部は県庁所在地の鳥取市、南部は岡山県と、西部は秀峰大山に隣接する圏域となっています。その総面積は、780.6 km²で、鳥取県の約22%を占めています。

○気象

気候は日本海岸気候区に属し、年間平均気温（1979年～2000年）は14.4℃であり、山



陽の岡山と比べると約1℃、東京とは1.5℃低く、比較的低い気温となっています。

○土地利用・自然環境

本圏域全体における土地利用別面積をみると、山林・原野が466.5 km²（59.8%）、農用地が127.8 km²（16.4%）で、自然的土地利用は594.3 km²（76.1%）と圏域の約4分の3を占めています。

地形は、周囲を山麓に囲まれており、国道や県道沿いに市街地が形成された地形となっています。また、天神川に代表される河川、三徳山や船上山に代表される山岳、東郷湖、北条砂丘など、恵まれた水と緑の豊かな自然環境が大きな魅力となっています。

■土地利用区分

		倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町	定住自立圏
農用地	田	31.51	7.30	13.90	15.95	9.87	127.79
	畑	16.75	2.18		13.01	17.32	
山林		59.81	221.06	39.34	84.96	13.72	466.53
原野		47.64			-		
水面・河川・水路		0.17	-	5.45	-	-	5.62
宅地		11.70	1.66	3.54	4.54	4.49	25.93
雑種地		4.25	1.26	-	-	-	5.51
その他		100.32	-	15.71	21.42	11.75	149.2
合計		272.15	233.46	77.94	139.88	57.15	780.58

資料：各市町勢要覧、都市マスタープラン、土地利用計画など（単位：km²）

注釈：各市町によって分類が異なる場合がある

2. 人口

○人口の推移

本圏域の人口推移を約半世紀の長期的スパンでみると、昭和55年から昭和60年の高度経済成長時代と期を一にして、人口は大きく増加し、昭和60年には122,939人まで達しています。さらに昭和60年から現在（平成17年）までの推移としては、北栄町を除く1市3町では減少傾向に転じ、北栄町も平成7年をピークに、増加から減少へと転換しています。

○世帯数

世帯数の経年変化をみると、平成2年から現在（平成17年）まで、1市4町とも一貫して増加しており、20年間で2,643世帯が増加し、年間平均約130世帯が増加していることがうかがえます。

一方、世帯人員の経年変化をみると、年々減少傾向にあり、核家族化が進行している傾向となっています。

○人口動態

近年5年間の人口動態をみると、唯一、湯梨浜町では平成17年には自然動態・社会動態ともに増加していましたが、それ以降はいずれも減少しています。その他の1市3町は近年5ヵ年においては、いずれも減少傾向となっています。

○人口流動

平成 12 年から平成 17 年にかけての本圏域の人口の流入および流出状況を見ると、流入人口が流出人口を上回っているのは倉吉市のみで、他の 4 町は流出過多となっており、定住自立圏の合計では、若干の流出過多となっています。昼間人口は、流出過多の分だけ、常住人口（夜間人口）よりも少なくなっています。

倉吉市への圏域内周辺自治体からの就業者及び通学者の状況を見ると、琴浦町を除く 3 町では、約 3 割が倉吉市へ移動しており、流出入人口をみても比較的、圏域内の移動が活発であることがうかがえます。

○昼夜間人口比率

本圏域の昼夜間人口比率（昼間人口と常住人口（夜間人口）の割合）を見ると、倉吉市の昼夜間人口比率が 100 を超えている以外は、79.9～99.3 と、周辺の 4 町のいずれにおいても流出過多がうかがえる状況となっています。

■人口の経年変化

		倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町	定住自立圏
昭和 55 年	総数	57,252	8,771	17,488	22,150	15,772	121,433
	15 歳未満	12,479	1,608	3,450	4,588	3,373	25,498
	15～64 歳未満	37,580	5,707	11,346	14,446	10,137	79,216
	65 歳以上	7,192	1,456	2,692	3,116	2,262	16,718
昭和 60 年	総数	57,306	8,880	17,498	22,326	16,929	122,939
	15 歳未満	12,181	1,665	3,529	4,555	3,852	25,782
	15～64 歳未満	36,821	5,623	10,918	14,221	10,484	78,067
	65 歳以上	8,304	1,592	3,047	3,550	2,593	19,086
平成 2 年	総数	56,602	8,700	17,309	21,736	17,155	121,502
	15 歳未満	10,741	1,582	3,328	4,044	3,589	23,284
	15～64 歳未満	36,031	5,289	10,478	13,599	10,560	75,957
	65 歳以上	9,830	1,829	3,502	4,093	3,002	22,256
平成 7 年	総数	55,669	8,356	17,167	21,184	17,228	119,604
	15 歳未満	9,332	1,322	3,007	3,533	3,195	20,389
	15～64 歳未満	34,883	4,958	10,177	12,797	10,563	73,378
	65 歳以上	11,454	2,076	3,983	4,854	3,470	25,837
平成 12 年	総数	54,027	7,921	17,381	20,442	16,915	116,686
	15 歳未満	8,037	1,060	2,811	3,003	2,589	17,500
	15～64 歳未満	33,169	4,557	10,277	12,024	10,412	70,439
	65 歳以上	12,790	2,304	4,293	5,410	3,914	28,711
平成 17 年	総数	52,592	7,509	17,525	19,499	16,052	113,177
	15 歳未満	7,159	910	2,605	2,656	2,196	15,526
	15～64 歳未満	31,695	4,285	10,393	11,203	9,817	67,393
	65 歳以上	13,725	2,314	4,527	5,638	4,039	30,243

資料：国勢調査（単位：人）

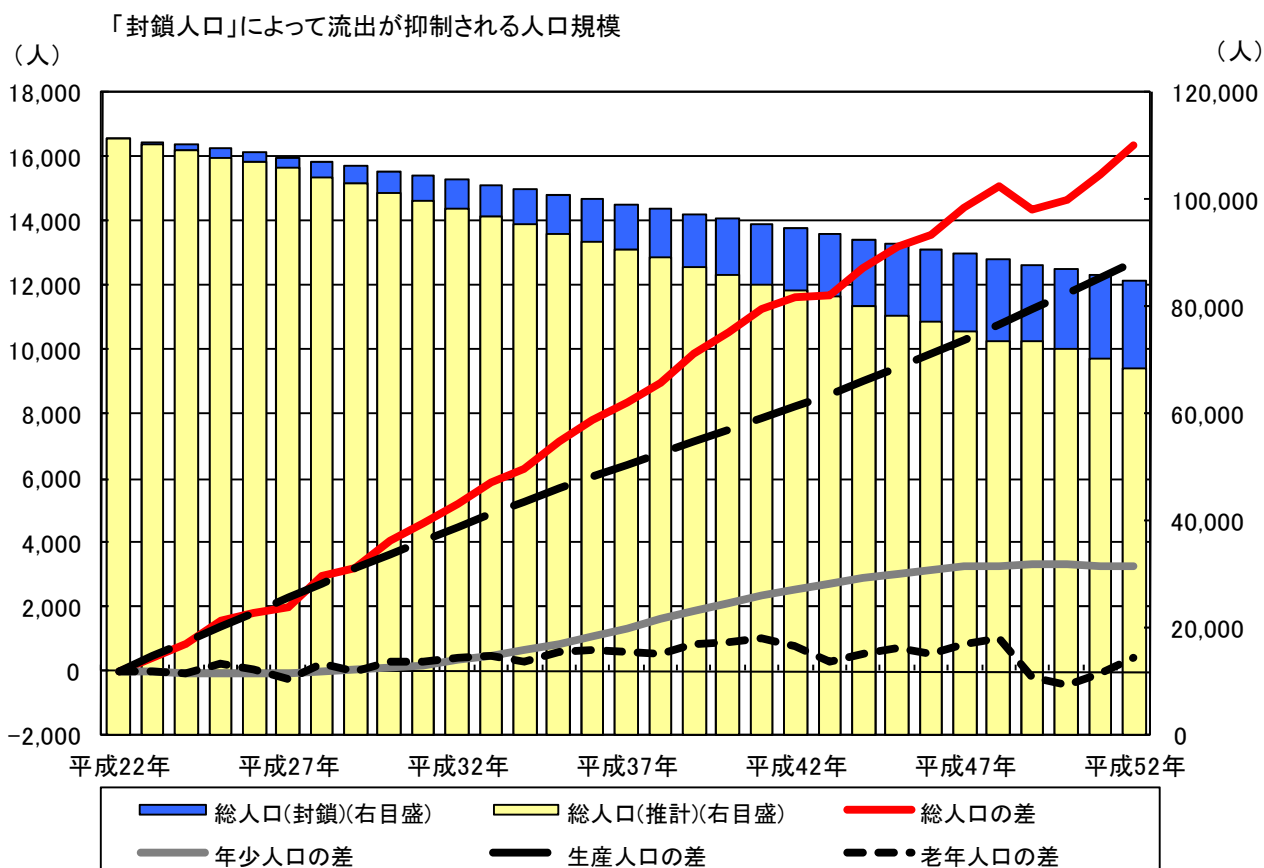
○将来人口

平成 22 年以降の将来人口は、市町によって若干の差はあるものの、いずれにおいても今後も減少する傾向であると推測されます。また、人口流動を考慮しない「封鎖人口」と推計人口との比較では、30 年後には約 1.5 万人の差が発生し、人口の流出を抑制することが今後の圏域の維持に大きく関わることがうかがえます。

■将来人口の推計

	平成 22 年	平成 27 年	平成 32 年	平成 37 年	平成 42 年	平成 47 年	平成 52 年
倉吉市	50,977	48,113	44,934	41,643	38,210	34,783	31,456
三朝町	7,285	6,689	6,070	5,445	4,855	4,284	3,736
湯梨浜町	17,744	17,162	16,456	15,682	14,862	13,965	13,046
琴浦町	19,343	18,137	16,788	15,435	14,087	12,752	11,489
北栄町	16,121	15,338	14,452	13,465	12,431	11,384	10,339
定住自立圏	111,470	105,387	98,586	91,493	84,201	76,860	69,696

資料：各市町住民基本台帳より作成（単位：人）



推計方法：平成 17 年～22 年の各年 9 月 30 日現在の各市町の住民基本台帳人口を元に、平成 22 年を基準年としてコーホート変化率法により推計した。0 歳人口については、子ども女性比(0 歳人口と 25～34 歳女性人口の比率)により算出している。

封鎖人口は平成 21 年全国簡易生命表を使用し、コーホート要因法によって推計した。

3. 医療分野

○医療基盤

倉吉市には、病院、診療所、医師など、医療機関の基盤が最も整っており、三朝町には三朝温泉病院などの中部保健医療圏で連携体制の役割を果たす代表的な医療機関があります。他3町には診療所が中心となり医療を行っている状況がうかがえます。医師数でみると、特に循環器内科、消化器内科、眼科、小児科医、産婦人科医などが少ない状況となっています。

また、県内の病院における保健医療圏域（東部・中部・西部）ごとの患者住所地別の入院患者の状況については、東部及び西部では、いずれの病床も患者の90%以上が患者住所地の医療機関へ入院していますが、中部では一般病床及び精神病床の患者が他圏域で入院している割合が若干多くなっています。

4. 福祉分野

○高齢者福祉

高齢者を取り巻く状況をみると、本圏域の高齢化率は26.7%となっており、特に三朝町（30.8%）、琴浦町（28.9%）で高くなっています。また、三朝町では圏域内で比較すると、高齢者夫婦世帯、単身高齢者世帯の数が多く、琴浦町では高齢者夫婦世帯の数が多くなっています。

要介護（要支援）認定者では、軽度（幼支援1、要支援2、要介護1）の割合が倉吉市、琴浦町、北栄町で40%を超えており、中度の割合は三朝町で37.3%、重度の割合は北栄町で23.9%と、それぞれ圏域内で最も高くなっています。

介護保険サービス等の状況では、倉吉市ではサービス事業所の数が最も多く、各町では居宅サービスを中心に供給基盤が確保されている状況です。圏域でみると、居宅系の介護サービスは一定整えられている状況がうかがえますが、施設に関する待機者数は、東部・西部と比較すると少ないものの、若干うかがえる状況となっています。

○子育て支援

保育所（園）や放課後児童クラブ（学童クラブ）などの子育て支援関連の施設については、一定基盤が整えられている状況です。また、子育て支援サービスについても、各市町内で不足しているサービス等は、各市町の次世代育成支援行動計画における事業量見込みをみると、今後整備する方向で見込まれています。また、自町内で整備が難しいサービス等は広域にて対応していることがうかがえます。

○障がい者（児）福祉

障がい福祉サービスについては、居宅系サービスは各市町にて基盤が確保されている状況ですが、施設系や日中活動系のサービスは倉吉市に集中しており、広域で対応していることがうかがえます。

5. 教育分野

○教育分野

小学校、中学校については、各市町で一定基盤が整えられている状況です。高校は倉吉市、湯梨浜町、北栄町にあり、専修学校、短期大学などの高等教育機関は倉吉市に集中している状況です。

また、体育施設、文化・コミュニティ施設についても、各市町にておおむね基盤が整っていることがうかがえます。

6. 産業振興分野

○観光資源

観光資源は各市町において豊富に存在し、それぞれを代表する自然環境や史跡、景勝、祭りなどを活かしながら観光振興が進められています。ただ、魅力的な資源やイベントが存在する一方で、本圏域周辺の観光入込客数、温泉地別入湯客数は、平成 17 年から平成 21 年にかけて減少している傾向となっています。

○産業構造

本圏域の産業構造について、就業者数をみると、農業（漁業）、建設業、製造業、卸売・小売業、医療・福祉に従事する者が特に多くなっています。

主幹産業は第 1 次産業（農林水産業）ですが、経年的に農業人口は減少しており、後継者の問題などで衰退している傾向にあります。また、工業に関しては、製造業の従業員数、製造品出荷額について近年（平成 16 年から平成 20 年）では増加・横ばい傾向となっています。その他、湯梨浜町、琴浦町、北栄町では小売業の従業員数、年間販売額が近年（平成 11 年から平成 19 年）では増加・横ばい傾向となっています。

7. 地域公共交通

○公共交通の状況

バス交通に関しては、一般路線バスやワンコインバス、コミュニティバスが運行されています。その他、NPOでの有償運送や乗合タクシーなど、コミュニティに合った交通運営がなされている状況がうかがえます。その他、各市町に JR 各駅が整備されていますが、三朝町のみ、鉄道に関する交通体系がない現状となっています。なお、2010 年（平成 22 年）に鳥取県中部地域公共交通協議会が実施した住民アンケートによると、普段の移動手段として何らかの公共交通手段を利用している人の割合は、全体の 2～4 割程度となっています。

○（広域）道路

広域道路は、地域高規格道路やインターチェンジなどが各市町に整備されつつあり（三朝町はなし）、国道 9 号、179 号、313 号と県道、市町道、基幹農林道などが結ばれ、相互に連携し、主要道を形成しています。

8. 地産地消

○特産品

特産物は、メロン、梨、スイカ、ぶどうなどの農産物、和牛、乳牛などの畜産物、しいたけ、しめじなどの林産物、シジミ、鮮魚などの水産物などが豊富に存在しています。また、水を活かした地酒や醤油づくりも行われており、各市町の特色を活かした品目が豊かです。

9. 移住

○空き家バンク

空き家バンクの登録状況については、倉吉市、琴浦町、北栄町で実施されており、比較的、琴浦町、北栄町で登録件数が多くなっています。

10. 広報

○広報

広報については、広報誌やホームページなどによる情報発信がなされています。倉吉市では、インターネットを活用したメール配信サービスや地域 SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）、ケーブルテレビを活用した L 字情報サービス（三朝町も）なども実施しています。なお、ケーブルテレビの加入率については、倉吉市以外の 4 町では 7 割以上、倉吉市では 6 割程度の加入率となっています。

11. 人材

○ボランティア団体・NPO 法人

本圏域の活動分野別ボランティア団体・NPO 法人数（平成 22 年）をみると、ボランティア、NPO 法人による活動において、最も多いのは、保健・医療・福祉の分野となっています。その他、まちづくり、環境保全、子どもの健全育成などが多い分野となっています。

(資料2)

鳥取県中部定住自立圏共生ビジョン策定 のための概況（資料編）

平成22年10月

鳥取県 倉吉市

目 次

第1章 自然・人口	1
I. 地勢	1
1. 面積、位置	1
2. 気象	1
3. 土地利用	2
4. 自然環境	3
II. 人口	4
1. 人口の推移	4
2. 世帯数・世帯人員	5
3. 人口動態	6
4. 人口流動	7
5. 倉吉市への圏域内周辺自治体からの就業者及び通学者の状況	8
6. 昼夜間人口比率	8
7. 人口推計	9
第2章 生活機能の強化	10
I. 医療分野	10
II. 福祉分野	12
1. 高齢者	12
2. 子育て支援	15
3. 障がい福祉	17
III. 教育分野	18
1. 教育	18
2. 体育施設	20
3. 文化・コミュニティ施設	21
IV. 産業振興分野	22
1. 観光	22
2. 産業	24
第3章 結びつきやネットワークの強化	28
I. 地域公共交通	28
II. 地産地消	30
III. 移住・交流	31
IV. 広報	31
第4章 圏域マネジメント能力の強化	32
I. 人材育成	32
第5章 その他	33
I. 沿革	33

第6章 まとめ	34
1. 傾向・現状等のまとめ	34

第1章 自然・人口

1. 地勢

1. 面積、位置

■面積

	倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町	定住自立圏
面積(k㎡)	272.15	233.46	77.95	139.88	57.15	780.59
県に占める面積の割合(%)	7.8	6.7	2.2	3.9	1.6	22.1

資料：各市町勢要覧、総合計画など

■位置

	緯度	経度
倉吉市	北緯:35度25分	東経:133度49分
三朝町	北緯:35度24分20秒	東経:133度51分55秒
湯梨浜町	北緯:35度29分	東経:133度52分
琴浦町	北緯:35度29分	東経:133度41分
北栄町	北緯:35度29分25秒	東経:133度45分25秒

資料：各市町勢要覧、総合計画など

2. 気象

■月別気温と降水量の平年値

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
気温(℃)	最高気温	7.2	7.4	10.9	16.6	21.3	24.4	28.0	29.3	25.3	20.7	15.6	10.5	29.3
	最低気温	1.5	1.1	3.2	7.4	12.1	17.3	21.7	22.3	18.3	12.5	8.0	3.8	1.1
	平均気温	4.2	4.1	7.1	12.2	16.8	20.8	24.7	25.7	21.7	16.3	11.6	7.0	14.4
降水量(mm)		142.5	109.3	118.0	104.4	124.6	164.9	204.5	119.2	244.2	160.5	136.8	124.9	1,754

※倉吉観測所（倉吉市大塚字隈ヶ坪、1979～2000年平均）

資料：北栄町地域新エネルギー・省エネルギービジョン

■他地域との比較

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
気温(℃)	倉吉	4.2	4.1	7.1	12.2	16.8	20.8	24.7	25.7	21.7	16.3	11.6	7.0	14.4
	東京	5.8	6.1	8.9	14.4	18.7	21.8	25.4	27.1	23.5	18.2	13.0	8.4	16.0
	岡山	4.8	5.1	8.4	14.3	19.0	22.9	26.9	27.9	23.7	17.6	12.1	7.0	15.9

※東京気象台、岡山気象台（過去30年間の平均値）、倉吉観測所（1979～2000年平均）

資料：北栄町地域新エネルギー・省エネルギービジョン

3. 土地利用

■土地利用区分

		倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町	定住自立圏
農用地	田	31.51	7.30	13.90	15.95	9.87	127.79
	畑	16.75	2.18		13.01	17.32	
山林		59.81	221.06	39.34	84.96	13.72	466.53
原野		47.64			-		
水面・河川・水路		0.17	-	5.45	-	-	5.62
宅地		11.70	1.66	3.54	4.54	4.49	25.93
雑種地		4.25	1.26	-	-	-	5.51
その他		100.32	-	15.71	21.42	11.75	149.2
合計		272.15	233.46	77.94	139.88	57.15	780.58

資料：各市町勢要覧、都市マスタープラン、土地利用計画など（単位：km²）

注釈：各市町によって分類が異なる場合がある

4. 自然環境

■自然環境（代表的な地形等）

	倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町
地形、地理条件	南西に山岳、北東に平野が広がり、南北に走る国道に沿って市街地が配置。	周囲を山に挟まれ東西に走る県道沿いに市街地が配置。	南は東郷湖、北は日本海に囲まれ東西に走る国道沿いに市街地が配置。	北は日本海に、南は大山山麓に挟まれ東西に走る国道沿いに市街地が配置。	北は日本海に、南は大山山麓に挟まれ東西に走る国道沿いに市街地が配置。
河川	天神川 小鴨川 国府川	天神川 三徳川 加茂川	天神川 東郷川 舎人川 羽衣石川	加勢蛇川 勝田川、尾張川 黒川、矢筈川 八橋川、洗川 野田川、今田川	由良川 天神川
湖沼	大山池 池ノ谷溜池	—	東郷湖	小田股ダム湖 船上山ダム湖	西高尾ダム湖
山岳	打吹山	三徳山	鉢伏山 羽衣石山 米山	船上山、勝田ヶ山 甲ヶ山、矢筈ヶ山 烏ヶ山、飯盛山	蜘蛛ヶ家山
その他	阿蘇山一の滝 不動滝(大滝山・笹ヶ平)	馬場の滝 不動滝(三徳山・福山・牧)	今滝 不動滝	大山滝 千丈滝 鱒返しの滝 地獄谷	北条砂丘

資料：各市町勢要覧、総合計画など

II. 人口

1. 人口の推移

■人口の経年変化

		倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町	定住自立圏
昭和55年	総数	57,252	8,771	17,488	22,150	15,772	121,433
	15歳未満	12,479	1,608	3,450	4,588	3,373	25,498
	15～64歳未満	37,580	5,707	11,346	14,446	10,137	79,216
	65歳以上	7,192	1,456	2,692	3,116	2,262	16,718
昭和60年	総数	57,306	8,880	17,498	22,326	16,929	122,939
	15歳未満	12,181	1,665	3,529	4,555	3,852	25,782
	15～64歳未満	36,821	5,623	10,918	14,221	10,484	78,067
	65歳以上	8,304	1,592	3,047	3,550	2,593	19,086
平成2年	総数	56,602	8,700	17,309	21,736	17,155	121,502
	15歳未満	10,741	1,582	3,328	4,044	3,589	23,284
	15～64歳未満	36,031	5,289	10,478	13,599	10,560	75,957
	65歳以上	9,830	1,829	3,502	4,093	3,002	22,256
平成7年	総数	55,669	8,356	17,167	21,184	17,228	119,604
	15歳未満	9,332	1,322	3,007	3,533	3,195	20,389
	15～64歳未満	34,883	4,958	10,177	12,797	10,563	73,378
	65歳以上	11,454	2,076	3,983	4,854	3,470	25,837
平成12年	総数	54,027	7,921	17,381	20,442	16,915	116,686
	15歳未満	8,037	1,060	2,811	3,003	2,589	17,500
	15～64歳未満	33,169	4,557	10,277	12,024	10,412	70,439
	65歳以上	12,790	2,304	4,293	5,410	3,914	28,711
平成17年	総数	52,592	7,509	17,525	19,499	16,052	113,177
	15歳未満	7,159	910	2,605	2,656	2,196	15,526
	15～64歳未満	31,695	4,285	10,393	11,203	9,817	67,393
	65歳以上	13,725	2,314	4,527	5,638	4,039	30,243

資料：国勢調査（単位：人）

■平成17年の総人口に対する割合

		倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町	定住自立圏
平成17年	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	15歳未満	13.6	12.1	14.9	13.6	13.7	13.7
	15～64歳未満	60.3	57.1	59.3	57.5	61.2	59.5
	65歳以上	26.1	30.8	25.8	28.9	25.2	26.7

資料：国勢調査（単位：%）

2. 世帯数・世帯人員

■世帯数の経年変化

	倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町	定住自立圏
平成2年	16,750	2,566	4,580	5,826	4,330	34,052
平成7年	17,454	2,562	4,688	5,891	4,512	35,107
平成12年	17,750	2,545	5,055	6,024	4,749	36,123
平成17年	18,119	2,517	5,365	5,964	4,736	36,695

資料：国勢調査（単位：世帯）

■世帯人員の経年変化

	倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町	定住自立圏
平成2年	3.38	3.39	3.78	3.73	3.96	3.57
平成7年	3.19	3.26	3.66	3.60	3.82	3.41
平成12年	3.04	3.11	3.44	3.39	3.56	3.23
平成17年	2.90	2.98	3.27	3.27	3.39	3.08

資料：国勢調査（単位：人/世帯）

3. 人口動態

■近年5カ年の人口動態の変化

		倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町
平成17年	人口動態	-553	-118	128	-213	-220
	自然動態	-145	-77	2	-109	-108
		出生	444	59	171	134
	死亡	589	136	169	243	217
	社会動態	-408	-41	126	-104	-112
	転入	2,022	189	762	551	475
転出	2,430	230	636	655	587	
平成18年	人口動態	-426	-82	-48	-220	-127
	自然動態	-112	-27	-72	-89	-81
		出生	477	63	131	145
	死亡	589	90	203	234	200
	社会動態	-314	-55	24	-131	-46
	転入	1,836	201	638	504	514
転出	2,150	256	614	635	560	
平成19年	人口動態	-706	-62	-81	-293	-81
	自然動態	-224	-30	-61	-154	-60
		出生	448	53	163	134
	死亡	672	83	224	288	170
	社会動態	-482	-32	-20	-139	-21
	転入	1,651	214	559	483	529
転出	2,133	246	579	622	550	
平成20年	人口動態	-367	-100	-110	-242	-243
	自然動態	-191	-25	-33	-120	-67
		出生	442	57	167	140
	死亡	633	82	200	260	193
	社会動態	-176	-75	-77	-122	-176
	転入	1,687	178	549	447	424
転出	1,863	253	626	569	600	
平成21年	人口動態	-309	-129	-163	-195	-92
	自然動態	-181	-57	-55	-119	-66
		出生	421	53	155	124
	死亡	602	110	210	243	192
	社会動態	-128	-72	-108	-76	-26
	転入	1,605	144	557	446	460
転出	1,733	216	665	522	486	

資料：とっとり統計ナビ（単位：人）

4. 人口流動

■ 流入・流出口

		倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町	定住 自立圏	
平成 12年	昼間人口	60,149	7,038	13,944	19,261	14,857	115,249	
	常住人口(夜間人口)	54,027	7,921	17,381	20,442	16,915	116,686	
	昼夜間人口の差	6,122	-883	-3,437	-1,181	-2,058	-1,437	
	流入 人口	総数	12,432	1,158	2,234	3,117	3,058	※2,471
		うち圏内	10,542	1,107	1,960	3,075	2,844	-
		男性	7,112	553	1,220	1,609	2,001	※1,454
		うち圏内	5,842	514	1,031	1,827	1,827	-
		女性	5,320	605	1,014	1,508	1,057	※1,017
		うち圏内	4,700	593	929	1,248	1,017	-
	流出 人口	総数	6,310	2,041	5,671	4,298	5,116	※3,917
		うち圏内	4,959	1,879	4,854	3,214	4,613	-
		男性	3,925	1,236	3,258	2,575	2,924	※2,886
		うち圏内	2,863	1,103	2,677	1,854	2,535	-
		女性	2,385	805	2,413	1,723	2,192	※1,031
うち圏内		2,096	776	2,177	1,360	2,078	-	
平成 17年	昼間人口	58,690	6,732	14,005	18,827	14,141	112,395	
	常住人口(夜間人口)	52,592	7,509	17,525	19,499	16,052	113,177	
	昼夜間人口の差	6,098	-777	-3,520	-672	-1,911	-782	
	流入 人口	総数	11,151	1,209	1,774	2,721	2,684	※3,174
		うち圏内	9,123	1,143	1,499	2,120	2,480	-
		男性	6,195	594	945	1,731	1,706	※2,104
		うち圏内	4,870	548	758	1,334	1,557	-
		女性	4,956	615	829	990	978	※1,070
		うち圏内	4,253	595	741	786	923	-
	流出 人口	総数	5,053	1,986	5,294	3,393	4,595	※3,956
		うち圏内	3,681	1,812	4,428	2,325	4,119	-
		男性	3,210	1,164	3,011	1,997	2,499	※2,814
		うち圏内	2,150	1,030	2,413	1,328	2,146	-
		女性	1,843	822	2,283	1,396	2,096	※1,142
うち圏内		1,531	782	2,015	997	1,973	-	

資料：国勢調査（単位：人）

※印は各市町の流入（流出）人口から圏域内の流入（流出）人口を引いた数値の合計＝圏域外の流入（流出）人口

注釈：「昼間人口」＝常住人口から通勤・通学のための移動人口を増減した人口

昼間人口＝常住人口－流出人口＋流入人口

「流出人口・流入人口」＝常住地から通勤や通学のために移動する人口

5. 倉吉市への圏域内周辺自治体からの就業者及び通学者の状況

■通勤通学割合

		常住就業・通学者数	倉吉市に従業する 就業・通学者数	割合
圏域内	三朝町	4,382	1,524	34.8%
	湯梨浜町	10,165	3,284	32.3%
	琴浦町	11,171	1,528	13.7%
	北栄町	9,870	2,787	28.2%
周辺自治体計		35,588	9,123	25.6%

資料：国勢調査（平成 17 年、単位：人）

6. 昼夜間人口比率

■昼夜間人口比率

	倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町	定住自立圏
平成 12 年	111.3	88.9	80.2	94.2	87.8	98.8
平成 17 年	111.6	89.7	79.9	96.6	88.1	99.3

資料：国勢調査（単位：なし）

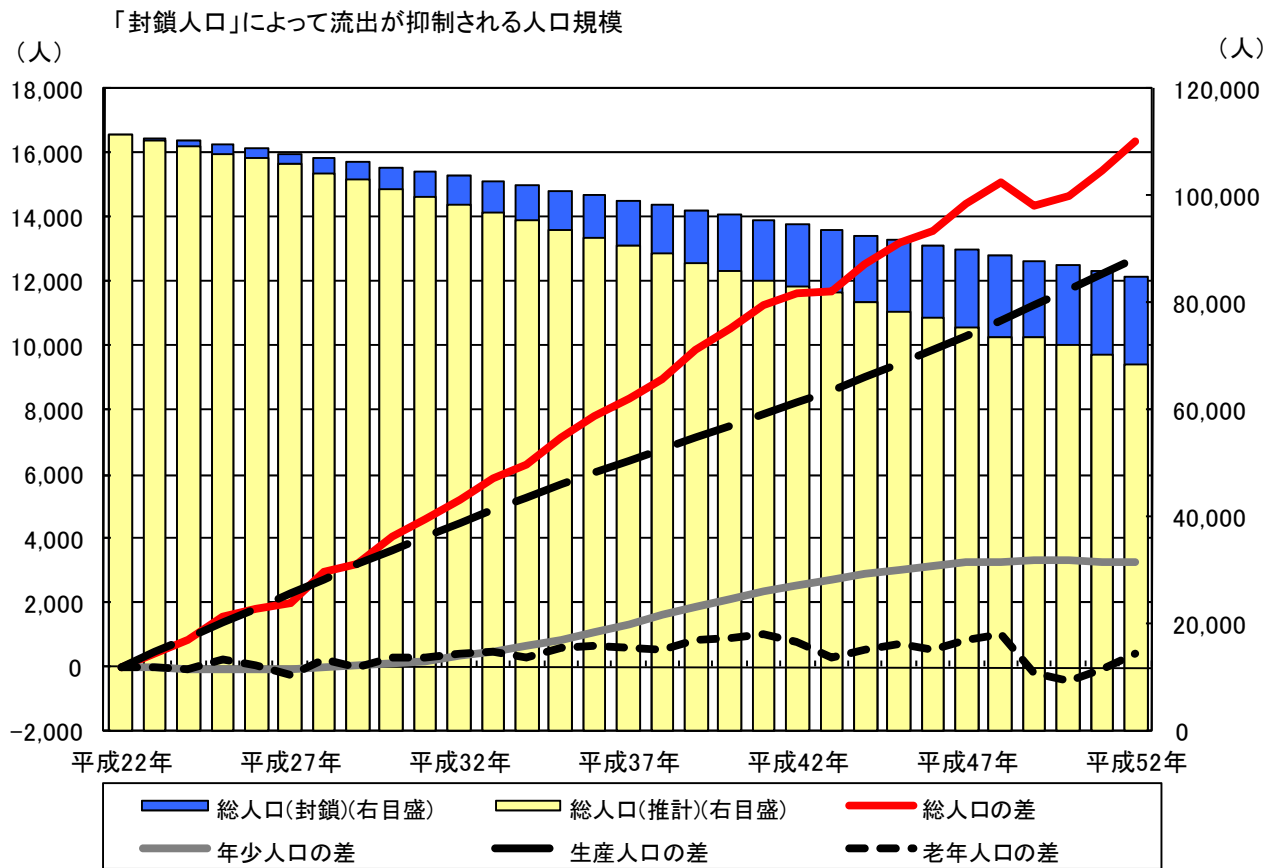
注釈：昼夜間人口比率＝昼間人口／常住人口×100

7. 人口推計

■将来人口の推計

	平成 22年	平成 27年	平成 32年	平成 37年	平成 42年	平成 47年	平成 52年
倉吉市	50,977	48,113	44,934	41,643	38,210	34,783	31,456
三朝町	7,285	6,689	6,070	5,445	4,855	4,284	3,736
湯梨浜町	17,744	17,162	16,456	15,682	14,862	13,965	13,046
琴浦町	19,343	18,137	16,788	15,435	14,087	12,752	11,489
北栄町	16,121	15,338	14,452	13,465	12,431	11,384	10,339
定住自立圏	111,470	105,387	98,586	91,493	84,201	76,860	69,696

資料：各市町住民基本台帳より作成（単位：人）



推計方法：平成17年～22年の各年9月30日現在の各市町の住民基本台帳人口を基に、平成22年を基準年としてコーホート変化率法により推計した。0歳人口については、子ども女性比(0歳人口と25～34歳女性人口の比率)により算出している。

封鎖人口は、平成21年全国簡易生命表を使用し、コーホート要因法によって推計した。

第2章 生活機能の強化

1. 医療分野

■ 医療機関の状況

(平成)	病院数(施設)			病院病床数(床)				一般診療所数(施設)		一般診療所病床数(床)	
	15年	20年	救急告示病院 20年	15年	20年	一般病床数		15年	20年	15年	20年
						20年	療養病床数 20年				
倉吉市	9	9	4	1,370	1,355	853	220	64	55	132	111
三朝町	2	2	0	269	258	149	109	3	3	0	0
湯梨浜町	0	0	0	0	0	0	0	11	12	0	0
琴浦町	0	0	0	0	0	0	0	16	16	38	34
北栄町	0	0	0	0	0	0	0	5	5	35	35
定住自立圏	11	11	4	1,639	1,613	1,002	329	99	91	205	180

(平成)	人口1万人 あたり病床数 (床) (病院+一般診療所) 20年	医師数(人)									
		15年	20年	内科	循環器 内科	消化器 内科	小児科	外科	整形 外科	眼科	産婦 人科
				20年	20年	20年	20年	20年	20年	20年	20年
倉吉市	283.26	158	169	47	4	4	10	14	12	7	10
三朝町	344.41	22	19	12	0	0	0	0	5	0	0
湯梨浜町	0.00	11	12	8	0	0	1	0	1	0	0
琴浦町	17.24	16	16	10	0	1	1	1	0	0	0
北栄町	21.42	9	7	4	0	0	0	0	0	1	0
定住自立圏	158.36	216	223	81	4	5	12	15	18	8	10

(平成)	歯科診療所数(施設)		歯科医師数(人)		薬剤師数(人)	
	15年	20年	14年	20年	14年	20年
倉吉市	25	27	36	36	132	132
三朝町	1	1	2	1	10	11
湯梨浜町	6	6	5	7	6	8
琴浦町	6	5	4	6	12	15
北栄町	3	3	3	3	8	5
定住自立圏	41	42	50	53	168	171

資料：地域経済総覧 2011 版

■保健医療圏域の入院状況

①一般病床

		病院所在地医療圏			
		東部	中部	西部	計
患者 住所地 医療圏	東部	97.4	1.3	1.3	100
	中部	6.2	85.5	8.3	100
	西部	2.7	0.5	96.8	100

資料：「鳥取県保健医療計画」鳥取県福祉保健部医療政策課調べ（2007年5月31日現在）（単位：％）

②療養病床

		病院所在地医療圏			
		東部	中部	西部	計
患者 住所地 医療圏	東部	98.6	1.3	0.1	100
	中部	1.1	97.5	1.4	100
	西部	0.2	0.6	99.2	100

資料：「鳥取県保健医療計画」鳥取県福祉保健部医療政策課調べ（2007年5月31日現在）（単位：％）

③精神病床

		病院所在地医療圏			
		東部	中部	西部	計
患者 住所地 医療圏	東部	96.6	2.6	0.8	100
	中部	7.9	86.6	5.5	100
	西部	1.6	1.6	96.8	100

資料：「鳥取県保健医療計画」鳥取県福祉保健部医療政策課調べ（2007年5月31日現在）（単位：％）

■医療連携体制において役割を果たす医療機関

		中部保健医療圏
脳卒中	急性期の医療機関	鳥取県立厚生病院、野島病院、藤井政雄記念病院、垣田病院
	回復期の医療機関	野島病院、清水病院、藤井政雄記念病院、垣田病院、信生病院、北岡病院、三朝温泉病院、三朝医療センター
急性心筋梗塞	急性期・回復期の医療機関	鳥取県立厚生病院、野島病院、清水病院、藤井政雄記念病院、垣田病院、北岡病院、三朝医療センター
糖尿病	専門治療を行う病院	鳥取県立厚生病院、野島病院、藤井政雄記念病院、垣田病院、三朝温泉病院、三朝医療センター
小児医療	救命救急センター	—
	二次救急医療機関	鳥取県立厚生病院
	休日夜間急患センター	中部休日急患診療所
周産期医療	総合周産期母子医療センター	—
	地域周産期母子医療センター	—
	上記以外で分娩可能な病院	鳥取県立厚生病院
救急医療	救命救急センター	—
	二次救急医療機関	鳥取県立厚生病院、野島病院、清水病院、藤井政雄記念病院、垣田病院、信生病院、北岡病院、三朝温泉病院
	休日夜間急患センター	中部休日急患診療所
	精神科救急医療機関	倉吉病院

資料：「鳥取県保健医療計画」（2008年3月）

II. 福祉分野

1. 高齢者

■ 高齢者世帯の状況

	高齢者夫婦世帯 (夫 65 歳以上 妻 60 歳以上)		高齢者(65 歳以上)単身世帯			
			男性		女性	
	平成 12 年	平成 17 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 12 年	平成 17 年
倉吉市	1,721	1,913	321	411	1,269	1,439
三朝町	296	286	50	69	221	239
湯梨浜町	435	463	93	119	333	367
琴浦町	630	662	97	122	401	431
北栄町	365	407	63	81	244	262
定住自立圏	3,447	3,731	624	802	2,468	2,738

資料：国勢調査（単位：世帯）

■ 要介護（要支援）認定者数

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
倉吉市	298	342	512	482	365	319	241	2,560
三朝町	27	71	80	81	90	60	44	453
湯梨浜町	35	91	130	151	138	112	103	760
琴浦町	80	112	260	195	165	149	95	1,056
北栄町	81	108	156	169	139	118	88	859
定住自立圏	521	724	1,138	1,078	897	758	571	5,688

資料：各市町高齢者保健福祉計画、介護保険計画（単位：人）

倉吉市：平成 20 年 10 月、三朝町：平成 20 年 12 月末、琴浦町：平成 20 年、北栄町：平成 20 年 4 月

■ 要介護（要支援）認定者の区分割合

	軽度	中度	重度
倉吉市	45.0	33.0	21.8
三朝町	39.2	37.3	22.9
湯梨浜町	33.7	38.0	28.3
琴浦町	42.8	34.0	22.9
北栄町	40.1	35.8	23.9
定住自立圏	41.9	34.7	23.4

注釈：軽度（要支援 1、要支援 2、要介護 1 の計）（単位：％）

中度（要介護 2、要介護 3 の計）

重度（要介護 4、要介護 5 の計）

■介護サービス事業所の状況

①介護給付

		倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町	定住自立圏
居宅サービス	訪問介護	13	1	1	4	5	24
	夜間対応型訪問介護	0	0	0	0	0	0
	訪問入浴介護	1	0	0	1	0	2
	訪問看護	4	1	1	1	1	8
	指定療養通所介護	0	0	0	0	0	0
	訪問リハビリテーション	3	0	1	0	0	4
	通所介護	16	3	3	7	6	35
	通所リハビリテーション	8	0	3	1	2	14
	特定施設入居者生活介護	0	0	0	0	0	0
	短期入所生活介護	3	1	1	2	0	7
	短期入所療養介護 (介護老人保健施設)	5	0	2	0	2	9
	短期入所療養介護 (介護療養型医療施設)	0	0	0	0	0	0
	福祉用具貸与	4	1	1	0	2	8
	特定福祉用具販売	5	0	0	0	1	6
居宅介護支援	17	2	2	6	3	32	

資料：鳥取医療機関・福祉施設等情報公表サービス（2010年7月末現在）（単位：箇所）

②介護予防

		倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町	定住自立圏
居宅サービス（介護予防）	介護予防訪問介護	12	1	1	4	5	23
	介護予防訪問入浴介護	0	0	0	0	0	0
	介護予防訪問看護	4	1	1	1	1	8
	介護予防訪問リハビリテーション	3	0	1	0	0	4
	介護予防通所介護	17	3	4	7	6	37
	介護予防通所リハビリテーション	8	0	3	0	2	13
	介護予防特定施設入居者生活介護	0	0	0	0	0	0
	介護予防短期入所生活介護	3	1	1	2	0	7
	介護予防短期入所療養介護 (介護老人保健施設)	5	0	2	0	2	9
	介護予防短期入所療養介護 (介護療養型医療施設)	0	0	0	0	0	0
	介護予防福祉用具貸与	4	0	1	0	2	7
	介護予防特定福祉用具販売	4	0	0	0	1	5

資料：鳥取医療機関・福祉施設等情報公表サービス（2010年7月末現在）（単位：箇所）

③施設サービス

		倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町	定住自立圏
サービス	介護老人福祉施設	2	1	0	2	0	5
	介護老人保健施設	5	0	2	0	2	9
	介護療養型医療施設	0	0	0	0	0	0

資料：鳥取医療機関・福祉施設等情報公表サービス（2010年7月末現在）（単位：箇所）

④地域密着型サービス（介護給付）

		倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町	定住自立圏
サービス	認知症対応型通所介護	5	0	1	0	0	6
	小規模多機能型居宅介護	2	1	0	0	1	4
	認知症対応型共同生活介護	9	1	2	5	5	22

資料：鳥取医療機関・福祉施設等情報公表サービス（2010年7月末現在）（単位：箇所）

⑤地域密着型サービス（介護予防）

		倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町	定住自立圏
サービス	介護予防認知症対応型通所介護	3	0	1	0	0	4
	介護予防小規模多機能型居宅介護	1	1	0	0	1	3
	介護予防認知症対応型共同生活介護	9	1	1	6	5	22

資料：鳥取医療機関・福祉施設等情報公表サービス（2010年7月末現在）（単位：箇所）

■介護老人施設の状況

	介護老人福祉施設定員数		介護老人保健施設定員数	
	平成15年	平成20年	平成15年	平成20年
倉吉市	335	344	326	404
三朝町	70	70	0	0
湯梨浜町	0	0	116	125
琴浦町	140	140	0	0
北栄町	0	0	130	130

資料：地域経済総覧 2011 版（単位：人）

■介護老人施設の待機者

圏域	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	合計
東部	369	34	403
中部	72	16	88
西部	153	16	169
計	594	66	660

資料：鳥取県老人福祉計画及び介護保険事業支援計画（2009年3月）（単位：人）

※入所申込者のうち在宅生活が難しいにもかかわらず在宅で待機している方の数

＝「在宅生活が難しい者」については、ケアマネジャー等が記入する入所選考調査票のうち、「在宅生活継続の可能性」欄において、「極めて困難」または「在宅サービスを利用していても在宅生活に支障がある」のいずれかにチェックがあるもの（2008年4月）。

2. 子育て支援

■子育て支援施設の状況

		倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町
保育所・園	公立	11	4	9	9	6
	私立	13	-	-	2	1
放課後児童クラブ	公立	7	-	5	5	2
	私立	8	-			
学童クラブ		-	3	-	-	
子育て支援センター		5	1	3	4	1
児童館・児童センター・児童集会所	公立	12	-	-	-	-
	私立	3	-	-	-	-

資料：各市町ホームページ、次世代育成支援行動計画など（単位：施設）

■保育所入所状況

	平成 17 年		平成 18 年		平成 19 年		平成 20 年		平成 21 年	
	定員	園児数	定員	園児数	定員	園児数	定員	園児数	定員	園児数
倉吉市	1,870	1,686	1,900	1,686	1,930	1,650	1,820	1,657	1,810	1,713
三朝町	240	216	240	236	240	218	240	236	240	233
湯梨浜町	665	635	665	622	685	592	685	614	685	616
琴浦町	810	766	825	736	825	729	825	685	825	706
北栄町	600	553	620	559	620	561	620	537	620	562
定住自立圏	4,185	3,856	4,250	3,839	4,300	3,750	4,190	3,729	4,180	3,830

資料：各市町次世代育成支援行動計画、倉吉市 2009 年市勢要覧、三朝町勢要覧平成 20 年版、琴浦町 2006 町勢要覧、北栄町 2006 町勢要覧、地域経済総覧 2011 版（単位：人）

■保育事業等の状況（平成26年度事業量の見込み）

	倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町	定住 自立圏
通常保育事業	24	4	8	11	4	51
延長保育事業	24	(4)	8	11	4	51
夜間保育事業	—	—	—	—	—	0
トワイライトステイ事業	1	—	—	1	1	3
休日保育事業	1	—	(1)	1	1	4
一時保育（一時預かり）事業	6	(4)	8	3	2	23
病後児保育事業	1	(1)	(1)	2	1	6
病児保育事業	—	—	—	—	—	0
特定保育事業	—	—	—	—	—	0
放課後児童健全育成事業	15	(2)	5	5	2	29
地域子育て拠点事業	5	1	3	5	3	17
ファミリーサポートセンター事業	1	—	1	1	1	4
ショートステイ事業	1	—	—	1	2	4

資料：各市町次世代育成支援行動計画（単位：箇所）

※（ ）内は他市町での実施、もしくは箇所数が明確でないもの

■その他児童・母子関係にかかわる施設等の状況

	倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町	定住 自立圏
児童厚生施設（児童遊園を含む。）	0	0	1	1	0	2
児童自立生活援助事業	1	0	0	0	0	1
児童養護施設	1	0	0	0	0	1
助産施設	1	0	0	0	0	1
母子生活支援施設	2	0	0	0	0	2

資料：鳥取医療機関・福祉施設等情報公表サービス（2010年7月末現在）（単位：箇所）

3. 障がい福祉

■障害者手帳等所持者数

	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者 保健福祉手帳
倉吉市 (平成 20 年)	2,191	432	279
三朝町 (平成 20 年)	374	33	39
湯梨浜町 (平成 18 年)	793	171	248
琴浦町 (平成 18 年)	965	71	73
北栄町 (平成 18 年)	751	72	40
定住自立圏	5,074	779	679

資料：各市町障害者計画（単位：人）

■その他障がい者（児）関係にかかわるサービス・施設等の状況

	倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町	定住 自立圏
居宅介護（ホームヘルプ）事業所	11	1	1	3	2	18
重度訪問介護	11	0	1	3	2	17
行動援護事業所	3	0	1	1	0	5
共同生活介護・共同生活援助	5	0	1	0	0	6
肢体不自由児通園施設	1	0	0	0	0	1
児童デイサービス事業所	3	0	0	0	0	3
自閉症・発達障害支援センター	1	0	0	0	0	1
生活介護	1	0	0	0	0	1
就労移行支援事業所	1	0	0	0	0	1
就労継続支援事業所（非雇用型（B型））	4	0	1	2	0	7
小規模作業所	5	0	2	0	2	9
障害者就業・生活支援センター	0	0	0	0	0	0
短期入所（ショートステイ）事業所	10	0	1	0	0	11
相談支援事業所	2	0	0	1	1	4
身体障害者通所授産施設	1	0	0	0	0	1
身体障害者入所授産施設	1	0	0	0	0	1
身体障害者療護施設	2	0	0	0	0	2
知的障害児施設	1	0	0	0	0	1
知的障害者通所授産施設	3	0	0	0	1	4
知的障害者入所更生施設	1	0	1	0	0	2
知的障害者入所授産施設	3	0	0	0	0	3
精神障害者生活訓練施設	2	0	0	0	0	2
精神障害者地域生活支援センター	1	0	0	0	0	1
精神障害者通所授産施設	1	0	0	0	0	1
福祉ホーム	1	0	0	0	0	1

資料：鳥取医療機関・福祉施設等情報公表サービス（2010年7月末現在）（単位：箇所）

III. 教育分野

1. 教育

■教育施設の状況

	倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町	定住自立圏
幼稚園	3	—	2	2	1	8
公立小学校	16	4	3	8	2	33
うち分校	2	1	—	—	—	3
公立中学校	5	1	3	2	2	13
高等学校	5	—	1	—	1	7
特別支援学校	1	—	—	—	—	1
専修学校	4	—	—	1	—	5
大学・短期大学	2	1	—	—	—	3

資料：各市町勢要覧、総合計画、次世代育成支援計画など（単位：園、校）

■幼稚園園児総数

	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年
倉吉市	276	251	260	275	260
三朝町	—	—	—	—	—
湯梨浜町	102	97	104	95	97
琴浦町	32	40	27	24	19
北栄町	41	34	40	34	38
定住自立圏	451	422	431	428	414

資料：学校基本調査(単位:人)

■小学校児童総数

	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年
倉吉市	2,945	2,902	2,832	2,771	2,707	2,636
三朝町	367	343	345	330	332	334
湯梨浜町	1,051	1,064	1,013	1,039	1,024	1,037
琴浦町	1,093	1,074	1,059	1,073	1,055	1,027
北栄町	894	879	846	848	827	854
定住自立圏	6,350	6,262	6,095	6,061	5,945	5,888

資料：学校基本調査（単位：人）

■中学校生徒総数

	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年
倉吉市	1,574	1,508	1,491	1,496	1,421	1,355
三朝町	225	212	202	194	166	160
湯梨浜町	581	556	566	571	590	571
琴浦町	622	602	590	540	530	526
北栄町	548	514	518	481	463	410
定住自立圏	3,550	3,392	3,367	3,282	3,170	3,022

資料：学校基本調査（単位：人）

2. 体育施設

■体育施設の状況

	倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町	鳥取県
体育館	スポーツセンター 体育館 市営体育センター 市営明倫体育館 市営関金農林漁業者等健康増進施設	町総合スポーツセンター 町農林漁業者健康増進施設 竹田地区町民体育館	羽合体育館 泊体育館 泊第2体育館 町農林漁業トレーニングセンター	町総合体育館 町農業者トレーニングセンター 町東伯勤労者体育センター 町赤碕勤労者体育センター	町北条体育館 町大栄体育館 町大誠体育館 町勤労者体育センター 町大栄ふれあい会館	県立倉吉体育文化会館
武道館	市営武道館(柔道場、剣道場)	町民武道館(三朝中)	-	町総合体育館武道場 町立赤碕武道館 町立東伯武道館	町北条ふれあい会館(柔道場・剣道場)	-
野球場	市営野球場 市営関金野球場	町営三朝球場	羽合野球場 泊野球場 東郷野球場	町立東伯野球場 町赤碕総合運動公園野球場	町北条野球場 町大栄野球場	-
庭球場	市営庭球場 市営関金テニスコート	町営美の田テニスコート	泊テニスコート 東郷テニスコート	町東伯テニスコート 町赤碕総合運動公園テニスコート	町北条テニスコート 町大栄テニスコート 町お台場公園テニスコート	南谷テニスコート ハワイ夢広場
陸上競技場	市営陸上競技場(公認)	町営三朝陸上競技場	-	-	-	-
サッカー・ラグビー場	市営ラグビー場 市営関金多目的広場		東郷多目的広場 東郷フットサルコート	町サッカー場	-	-
プール	市営温水プール	町民プール(三朝中) 町民プール(南小)	-	-	町立大栄中学校プール(公認)	-
相撲場	市営相撲広場	-	泊相撲場	-	-	-
ゲートボール場、グラウンドゴルフ場	市営関金屋根付多目的広場	町営ゲートボール場、グラウンドゴルフ場	泊ゲートボール場 とまりグラウンドゴルフのふる里公園	-	町お台場公園ゲートボール場 町レークサイド大栄ふれあいコース(グラウンドゴルフ)	-
射撃場	市営射撃場	-	-	-	-	-
B&G 海洋センター	関金 B&G 海洋センター艇庫	-	-	-	町B&G海洋センター(体育館、プール、ゲートボール場)	-
その他	-	多目的スポーツ広場	東郷運動場	町東伯多目的広場 町赤碕総合運動公園赤碕多目的広場	町北条運動場 町大栄運動場 町北条多目的広場 町お台場公園多目的広場 町レークサイド大栄青空広場(多目的広場)	-

資料：各市町ホームページ、各市町勢要覧

3. 文化・コミュニティ施設

■文化・コミュニティ施設の状況

	倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町
図書館	倉吉市立図書館	みささ図書館	湯梨浜町図書館 羽合図書室	琴浦町図書館本館 琴浦町図書館赤碕分館	北栄町図書館
博物館、美術館	倉吉博物館	みささ美術館	しおさいプラザとまり	琴浦町歴史民俗資料館	北条歴史民俗資料館 大栄歴史文化学習館 北条民芸実習館
文化センター、ホール	倉吉未来中心 関金総合文化センター	総合文化ホール	ハワイアロハホール	カウベルホール	-
公民館、コミュニティ施設	公民館:13ヶ所 伯耆しあわせの郷	公民館:2ヶ所 多目的研修会施設:2ヶ所	中央公民館:1ヶ所 中央公民館分館:2ヶ所 地区公民館:10ヶ所 コミュニティ施設:3ヶ所	公民館:9ヶ所 伊勢崎地区コミュニティ施設(白鳳館) 八橋ふれあいセンター 赤碕ふれあい交流会館 赤碕地域コミュニティセンター 東伯文化センター 赤碕文化センター	公民館:2ヶ所
その他	-	-	-	琴浦町生涯学習センター 一向平野営場 平岩記念会館 県立船上山少年自然の家	北条海浜広場 天神いこいの広場

資料：各市町ホームページ、各市町勢要覧、県ホームページ市町村設置公民館一覧

IV. 産業振興分野

1. 観光

■観光資源の状況

	倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町
史跡	史跡伯耆国府跡 八橋往来 地藏院「木造地藏菩薩半跏像(重文)」 打吹城 打吹玉川 豊田家住宅 酒蔵	国宝 「三仏寺奥院(投入堂)」 国指定名勝・史跡「三徳山」 国指定天然記念物「オオサンショウウオ」 伯耆国河村郡東郷在下地中分絵図	羽衣石城跡 長瀬高浜遺跡 橋津古墳群 北山古墳群 倭文神社(伯耆一ノ宮)	国指定特別史跡「斎尾廃寺跡」 国指定史跡「船上山行宮跡」 国指定天然記念物「伯耆の大シイ」 八橋城跡 神埼神社	由良台場 六尾反射炉跡 東高尾観音寺 北条八幡宮
海	-	-	ハワイ海水浴場 石脇海水浴場	八橋海水浴場	北条海浜広場 マリナー大栄
公園	打吹公園 亀井公園	やなせ公園	馬ノ山公園 グラウンドゴルフのふる里公園「潮風の丘とまり」 あやめ池公園	逢東あじさい自然公園 万本桜公園 大父木地親水公園	レークサイド大栄 蜘蛛ヶ家山山菜の里 お台場公園
温泉	関金温泉	三朝温泉 河原風呂	はわい温泉 東郷温泉	-	-
景勝	白壁土蔵群・赤瓦	小鹿溪	文芸の丘、今滝、不動滝	大山滝 船上山	北条砂丘
施設	倉吉パークスクエア 倉吉レトロまちかど博物館 倉吉ふるさと工芸館 凧工房 日帰り温泉施設「湯命館」 簡易宿泊施設「湯楽里(ゆらり)」 鳥取二十世紀梨記念館 水車の郷体験工房(そば打ち体験) 清流遊 YOU 村(釣り、バーベキューなど) 食肉加工センター(手づくりウィンナー体験) 道の駅(犬狹)	ふるさと健康むら 株湯 湯の街ギャラリー ブランナールみささ陣所の館 道の駅(三朝・楽市楽座)	風力発電 中国庭園「燕趙園」 ゆアシス東郷龍鳳閣 ハワイゆ〜たうん めぐみのゆ公園(足湯、温泉たまご、温泉スタンド) 鉢伏山展望台 ハワイ風土記館 道の駅(はわい)	波しぐれ三度笠 河本家住宅 旧中井旅館 花見湯墓地 日韓友好交流公園「風の丘」 道の駅(ポート赤碕)	風力発電 風車 前田寛治生家 隆光寺庭園 コナン大橋 コナン通り 青山剛昌ふるさと館 道の駅(北条公園、大栄)
その他	倉吉観光梨園 緑の彫刻プロムナード 大山池 福の神にあえる街 里見忠義終焉の地 倉吉のトイレ	リアリズムの宿(2004年公開の映画のロケ地)	ロハスな癒しの水際空間創出プロジェクト グラウンド・ゴルフ発祥の地	光の鍔絵(こてえ)太平記 朝日新聞酒井・片桐飛行殖難碑	「名探偵コナン」の原作者の出身地 ぶどう狩り 観光地引網

資料：各市町勢要覧、市町ホームページ、総合政策室資料など

■観光資源（イベント）の状況

	倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町
イベント	関金つつじ温泉まつり(4月)、桜ずもう(4月)、倉吉春まつり(4～5月)、アザレアのまち音楽祭(5～6月)、打吹まつり(8月)、関金温泉夏まつり(8月)、せきがね里見まつり(9月)、御幸行列(9月)、道の駅峠まつり(11月)、くだがゆ(旧暦1月14日)、観音市(2月)	三徳縁御幸行列(4月)、花湯まつり(5月)、キュリー祭(8月)、小河内ほおずき市と源流とうふ祭り(8月)、三徳山炎の祭典(10月)、小鹿溪紅葉まつり(11月)、三朝温泉年越イベント(12月)	グラウンドゴルフ発祥地大会(6月)、ハワイアンフェスティバルハワイinゆりはま(7月)、湯梨浜夏まつり(水郷祭、はわい温泉まつり、とまり夏まつり)(7～8月)、全国ジュニアグラウンドゴルフ大会(8月)、東郷湖ドラゴンカヌー大会(8月)、全国ベテラン卓球大会(9月)、湊神社例大祭(10月)、泊大名行例(10月)、相田市(3月)、湯梨浜ビーチバレー大会(7月)	大山滝・一向平山開き(4月)、船上山さくら祭(4月)、港あかさき海鮮まつり(海の日)、波止のまつり(7月)、白鳳祭(8月)、駅伝競走大会(9月)、秋まつり(10月)	すいか・ながいも健康マラソン(7月)、北条砂丘まつり(8月)、由良川イカダレース(8月)、北条砂丘クロスカンントリー(12月)

資料：総合政策室資料など

■地域別観光入込客数

	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年
とっとり梨の花温泉郷周辺 (倉吉市、湯梨浜町、三朝町、北栄町(旧北条町))	1,536,000	1,626,000	1,525,000	1,352,000	1,425,000
東伯耆周辺 (北栄町(旧大栄町)、琴浦町、大山町(旧中山町))	689,000	643,000	676,000	613,000	631,000

資料：鳥取県観光課統計（単位：人）

■温泉地別入湯客数

	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年
はわい温泉(湯梨浜町)	138,135	139,875	140,700	130,406	114,108
東郷温泉(湯梨浜町)	32,362	31,218	31,882	30,376	28,306
三朝温泉(三朝町)	407,906	400,617	392,366	354,770	347,493
関金温泉(倉吉市)	24,584	20,995	22,618	18,384	15,038

資料：鳥取県観光課統計（単位：人）

2. 産業

■産業三区分別就業者数

	倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町	定住自立圏
総数	26,108	4,067	9,343	10,345	9,051	58,914
第一次産業	3,043	744	1,792	2,455	2,353	10,387
第二次産業	6,592	853	2,192	2,635	2,101	14,373
第三次産業	15,982	2,467	5,321	5,194	4,575	33,539

資料：国勢調査（平成17年）ただし、総数には「不詳」も含む（単位：人）

■産業大分類別就業者数

		倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町	定住自立圏
計	総数	26,108	4,067	9,343	10,345	9,051	58,914
第一次産業	農業	2,996	730	1,702	2,376	2,342	10,146
	林業	39	11	5	12	10	77
	漁業	8	3	85	67	1	164
第二次産業	鉱業	14	3	1	1	2	21
	建設業	2,655	385	864	1,146	755	5,805
	製造業	3,923	465	1,327	1,488	1,344	8,547
第三次産業	電気・ガス・熱供給・水道業	161	18	47	26	23	275
	情報通信業	116	18	48	32	29	243
	運輸業	725	93	284	304	250	1,656
	卸売・小売業	4,067	520	1,326	1,348	1,183	8,444
	金融・保険業	494	45	154	127	104	924
	不動産業	109	9	23	19	7	167
	飲食店、宿泊業	1,423	517	528	342	288	3,098
	医療、福祉	3,099	458	1,061	951	915	6,484
	教育、学習支援業	1,202	90	446	349	381	2,468
	複合サービス事業	519	92	184	443	250	1,488
	サービス業（他に分類されないもの）	3,095	477	890	970	832	6,264
公務（他に分類されないもの）	972	130	330	283	313	2,028	
その他	分類不能の産業	491	3	38	61	22	615

資料：国勢調査（平成17年）ただし、総数には「不詳」も含む（単位：人）

■事業所数・従業員数

	事業所数(事業所)			従業員数(人)		
	平成 8 年	平成 13 年	平成 18 年	平成 8 年	平成 13 年	平成 18 年
倉吉市	3,651	3,325	3,140	26,920	24,756	24,032
三朝町	376	353	311	3,384	3,145	2,536
湯梨浜町	751	695	656	4,693	4,371	3,985
琴浦町	1,117	973	842	8,558	7,983	6,348
北栄町	680	678	621	5,308	4,964	4,524
定住自立圏	6,575	6,024	5,570	48,863	45,219	41,425

資料：事業所・企業統計調査

■農家人口

	昭和 60 年	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年
倉吉市	19,583	18,345	16,629	15,021	13,007
三朝町	5,107	4,704	4,198	3,812	3,327
湯梨浜町	9,925	9,055	8,273	7,424	6,349
琴浦町	11,901	11,226	10,080	9,538	8,295
北栄町	10,112	9,533	8,896	8,080	6,872
定住自立圏	56,628	52,863	48,076	43,875	37,850

資料：農林業センサス（単位：人）

■工業団地の状況

	倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町
工業団地	西倉吉工業団地 25.6ha	-	-	-	青木工業団地 10.5ha 東園稲場工業団地 2.0ha

資料：鳥取県ホームページ

■製造業の事業所数・従業員数

	事業所数(事業所)					従業員数(人)				
	平成 16年	平成 17年	平成 18年	平成 19年	平成 20年	平成 16年	平成 17年	平成 18年	平成 19年	平成 20年
倉吉市	117	116	115	115	115	3,898	3,957	4,002	4,144	4,094
三朝町	8	9	9	11	11	167	172	191	263	255
湯梨浜町	27	24	23	22	21	557	519	492	521	454
琴浦町	43	42	41	36	35	1,974	1,925	1,903	2,019	1,960
北栄町	45	42	38	39	36	981	939	957	918	851
定住自立圏	240	233	226	223	218	7,577	7,512	7,545	7,865	7,614

資料：工業統計調査

■製造品出荷額等

	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年
倉吉市	8,004,419	7,915,868	8,271,675	9,206,785	9,823,405
三朝町	142,362	166,287	193,025	291,643	328,679
湯梨浜町	708,693	632,803	638,686	647,141	557,297
琴浦町	3,765,584	3,670,427	3,674,924	3,717,967	4,084,976
北栄町	1,024,120	1,035,916	1,025,363	1,236,299	1,617,668
定住自立圏	13,645,178	13,421,301	13,803,673	15,099,835	16,412,025

資料：工業統計調査（単位：万円）

■小売業の事業所数・従業員数

	事業所数(事業所)				従業員数(人)			
	平成 11年	平成 14年	平成 16年	平成 19年	平成 11年	平成 14年	平成 16年	平成 19年
倉吉市	946	868	820	776	4,787	4,636	4,021	4,182
三朝町	66	67	66	62	256	246	250	227
湯梨浜町	208	193	177	163	686	814	703	747
琴浦町	275	241	220	210	1,133	1,223	1,097	1,101
北栄町	157	163	163	151	629	727	661	704
定住自立圏	1,652	1,532	1,446	1,362	7,491	7,646	6,732	6,961

資料：商業統計調査

■小売業の年間販売額

	平成 11 年	平成 14 年	平成 16 年	平成 19 年
倉吉市	8,164,686	7,037,342	6,993,536	6,916,633
三朝町	515,418	324,814	282,074	282,674
湯梨浜町	1,096,124	1,302,910	1,114,764	1,135,063
琴浦町	1,778,013	2,079,915	1,786,794	1,834,493
北栄町	1,137,861	1,270,524	1,004,008	1,125,027
定住自立圏	12,692,102	12,015,505	11,181,176	11,293,890

資料：商業統計調査（単位：万円）

第3章 結びつきやネットワークの強化

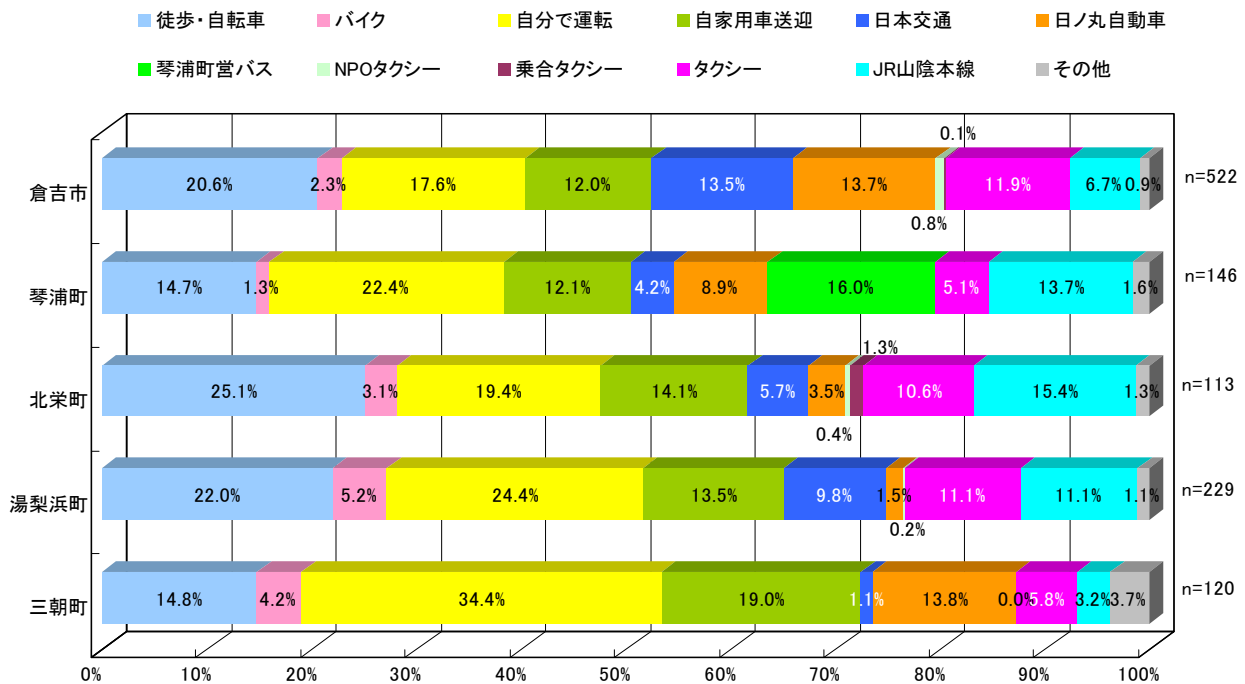
1. 地域公共交通

■公共交通の状況

	倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町
バス	拠点:倉吉バスセンター 高速バス 東京方面 大阪・神戸方面 福山・広島方面 岡山方面 福岡方面 一般路線バス 広域:11路線 市内:6路線 過疎地有償運送(NPO運営)	高速バス 大阪・神戸方面 一般路線バス 広域:4路線 単独バス運行 (一部デマンド運行)	高速バス 大阪・神戸方面 広島・福山方面 一般路線バス 広域:3路線 単独バス運行	一般路線バス 広域:1路線 町営バス:4路線	一般路線バス 広域:3路線 乗合タクシー
	○路線バス:日本交通(株)、日ノ丸自動車(株)の2業者。圏域内、1日387便、53路線、約6,765kmを運行				
鉄道	JR山陰本線 倉吉駅 (スーパーはくと発着駅)	-	JR山陰本線 泊駅 松崎駅	JR山陰本線 浦安駅 八橋駅 赤碓駅	JR山陰本線 下北条駅 由良駅

資料：各市町ホームページ、総合政策室資料など

■住民アンケート地域別集計にみる普段の移動



資料：公共交通に関する住民アンケート（2010年）総合政策室資料

■ 広域道路

	倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町
地域 高規格 道路	北条湯原道路(北条倉吉道路)	-	山陰道(青谷羽合道路)	山陰道(東伯中山道路)	山陰道(北条道路) 北条湯原道路(北条倉吉道路)
インター チェンジ	倉吉 IC	-	泊東郷 IC はわい IC	大栄東伯 IC 琴浦東 IC 琴浦 PA 琴浦船上山 IC 赤碕中山 IC	北条 IC/JCT 北栄 IC 北栄南 IC
国道	国道 179 号 国道 313 号	国道 179 号 国道 482 号	国道 9 号 国道 179 号	国道 9 号	国道 9 号 (北条バイパス) 国道 313 号

資料：県ホームページ、各市町ホームページなど

II. 地産地消

■特産品

	倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町
農産物	メロン、梨、スイカ、米、キャベツ、トマト、イチゴ、大豆、白ネギ、りんどう、うど、山の芋	梨、りんご、山椒、夏秋トマト、自然薯、三朝米(コシヒカリ)、シオデ	二十世紀梨、ぶどう、メロン、イチゴ、スイカ、野花豊後ウメ、ホウレンソウ、柿、白ネギ、らっきょう、大豆	梨、芝生、イチゴ、スイカ、大根、白ネギ、ブロッコリー、エリザベスメロン、ミニトマト	ぶどう、浜防風、らっきょう、スイカ、長芋、白ネギ、ブロッコリー、トマト、ストック、葉たばこ、柿、いちじく、メロン
畜産物	和牛(肥育、繁殖)、乳牛、豚	和牛(肥育、繁殖)、乳牛	玉子	ブロイラー、豚肉、牛肉、生乳	肥育牛、生乳
林産物	しいたけ、しめじ、わさび、まいたけ	しいたけ、なめこ、わさび	しいたけ、竹炭、竹酢液	しいたけ、わさび	しいたけ、竹炭、竹酢液、木炭、木酢液
加工品	みそ、しょうゆ、地酒、だんご、まんじゅう、そば、ハム、ウインナー、湯の関まんじゅうわさび漬加工品	わさび漬、とちもち、燻製、干し柿、三徳豆腐(山菜料理)、地酒(三朝正宗)、みそ	源五兵衛西瓜とまり漬、梨シロップ、地酒、梨ジャム、梅干、つわぶきの佃煮、するめのこうじ漬、湯梨浜せんべい、濃厚だし醤油(料理自慢)	奈良漬、しいらのかす漬、乳製品、菓子類、ハム・ソーセージ、竹輪、地酒	北条ワイン、ハム、長芋焼酎、長芋まんじゅう、長芋せんべい、葡萄ゼリー、米粉加工品、スイカジャム、スイカ糖
水産物	イワナ、ニジマス、カジカ	ニジマス	シジミ貝、ハマチ、アジ、サワラ、スズキ、ヒラメ、岩ガキ、わかめ、しらうお、寒ブナ、サザエ、うなぎ、白イカ	トビウオ、ウニ、モズク、白イカ、わかめ、鰹ふりだし	-
民芸品	倉吉緋、はこた人形、陶芸品(上神焼、国造焼、上神焼上神山窯、里見焼、福光焼、倉吉焼八幡窯、玉伯焼)、竹細工、押し花加工	陶芸品(白狼焼)、草木染(手織物)	大将ひょうたん、桐げた	梨の木の茶たく、大父木地窯	土人形、和紙人形

資料：各市町ホームページ、各市町勢要覧など

III. 移住・交流

■空き家バンクの登録状況

	倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町	定住自立圏
空き家バンク登録数	3	-	検討中	9	8	20
うち売買物件	2	-	-	7	6	15
うち賃貸物件	1	-	-	3	2	6

資料：各市町ホームページ（平成22年10月調べ）（単位：戸）
ただし、売買と重複の登録物件があり、合計登録数と一致しない

■住宅の整備状況

	倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町	定住自立圏
専用住宅総数	16,930	-	5,120	5,210	4,450	31,710
持ち家	11,650	-	4,560	4,500	4,200	24,910
借家	5,140	-	570	670	250	6,630
公営の借家	1,420	-	320	320	50	2,110
都市再生機構・公社の借家	130	-	-	-	-	130
民営借家	3,290	-	230	140	200	3,860
給与住宅	300	-	10	210	-	520

資料：住宅・土地統計調査（平成20年）三朝町は統計値なし（単位：戸）

IV. 広報

■広報媒体

	倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町
媒体	市報くらよし （月1回発行） ホームページ メール配信サービス 地域 SNS L字情報サービス	広報みささ （月1回発行） ホームページ L字情報サービス	広報ゆりはま （月1回発行） ホームページ	広報ことうら （月1回発行） ホームページ	広報北栄 （月1回発行） ホームページ

資料：各市町ホームページ

■ケーブルテレビ加入率

	倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町
平成20年	56.5	88.9	83.7	70.6	85.6
平成21年	56.9	89.7	84.0	71.7	85.5
平成22年	59.8	90.1	87.3	72.0	85.0

資料：NCN、TCC 情報提供資料（平成20年3月末～平成22年3月末）（単位：%）

第4章 圏域マネジメント能力の強化

1. 人材育成

■ ボランティア団体・NPO 法人数

	倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町	定住自立圏
ボランティア団体数	60	24	17	25	20	146
うち NPO 法人数	14	3	1	2	1	21

資料：鳥取県ホームページ（平成 22 年 10 月調べ）

■ 活動分野別ボランティア団体・NPO 法人数

	倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町
保健・医療・福祉	29	20	10	15	7
社会教育	8	6	1	7	4
まちづくり	15	7	4	11	11
文化・芸術・スポーツ	13	3	4	4	6
環境保全	14	1	7	5	9
災害救援	10	2	1	1	2
地域安全	7	2	4	3	2
人権擁護平和推進	4	1	2	0	3
国際協力・交流	6	0	2	3	2
男女共同参画	7	0	3	2	2
子どもの健全育成	16	2	4	7	7
情報化社会	0	0	1	1	1
科学技術	0	0	0	0	0
経済活動の活性化	3	1	1	0	2
職業能力・雇用機会	1	1	1	1	0
消費者保護	0	1	2	1	1
市民活動支援	7	1	2	2	0
その他	0	0	0	0	0

資料：鳥取県ホームページ（平成 22 年 10 月調べ）

ただし、複数の活動分野で活動している団体があるため、合計は団体数と一致しない。

第5章 その他

1. 沿革

■市町の変遷

	倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町
昭和	<p>1953年10月1日 東伯郡倉吉町、上井町、北谷村、上小鴨村、上北条村、西郷村、社村、高城村、灘手村の一部の2町7村が合併し倉吉市が発足。</p> <p>1955年5月1日 灘手村の残りを編入合併。</p>	<p>1953年11月1日 三朝村、旭村、竹田村、小鹿村、三徳村が新設合併し町制施行。</p>	<p>1953年4月1日、 長瀬村、橋津村、宇野村、浅津村が合併し、羽合町が発足。</p> <p>1953年4月1日 東郷松崎町、舎人村、花見村の1町2村が合併し東郷町が成立。</p>	<p>1940年12月12日 逢東村、市勢村、伊勢崎村が合併し浦安村が発足。</p> <p>1942年2月11日 浦安村が町制施行し浦安町となる。</p> <p>1954年1月1日 赤碕町、以西村、安田村、成美村が合併し新・赤碕町が発足。</p> <p>1954年2月1日 八橋町、浦安町、上郷村、下郷村、古布庄村が合併し東伯町が発足。</p>	<p>1954年6月1日 中北条村、下北条村が合併し北条町が発足。</p> <p>1955年5月1日 大誠村、栄村が合併し、大栄町が発足。</p> <p>1959年4月1日 大栄町、由良町が合併し新・大栄町が発足。</p>
平成	<p>2005年3月22日 東伯郡関金町を編入合併。</p>		<p>2004年10月1日 東伯郡羽合町、泊村、東郷町が合併し湯梨浜町が発足。</p>	<p>2004年9月1日 東伯郡東伯町、赤碕町が合併し琴浦町が発足。</p>	<p>2005年10月1日 東伯郡北条町、大栄町が合併し北栄町が発足。</p>

出典：各市町勢要覧など

第6章 まとめ

1. 傾向・現状等のまとめ

■傾向・現状等のまとめ

	倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町
地勢	中部圏域では最も面積が大きく、山林・原野が4割。圏域の中心市。森林浴やさくらの名所など自然環境を生かした多様な百選がある。	中部圏域では倉吉市に次ぎ面積が大きく、山林が9割を占める。三徳山に代表される自然環境が豊富。	北側が日本海に面し、東郷湖に代表される水辺・水際に関する自然環境が整っている。	北側は日本海に、南側は大山山麓に挟まれている。山林・原野が6割を占める。滝野百選など自然環境が豊富。	北側が海に面し、南側は大山山麓に挟まれている。北条砂丘に代表される自然環境が整っている。
	地形は、北が日本海に面し、周囲を山麓に囲まれており、それぞれ国道や県道沿いに市街地が形成された地形。また、天神川に代表される河川、三徳山や船上山に代表される山岳、東郷湖、北条砂丘など、恵まれた水と緑の豊かな自然環境、美しい環境が大きな魅力となっている。				
人口	人口が最も多い。昼夜間人口比率の割合が高い。	人口が最も少ない。少子化・高齢化が、圏域内では最も進んでいる傾向にある。	15歳未満の人口比が最も多く比較的若い人口が多い。近年では社会動態(転入増)の増加がみられる。	圏域内では比較的高齢化が進んでいる。	15歳～64歳までの人口比が最も多く、働く世代が比較的多い。社会減が比較的少ない。
	<p>○圏域のうち、北栄町を除く1市3町は昭和60年に人口のピークを迎え、北栄町は平成7年をピークに、それぞれ増加から減少へと転換。</p> <p>○世帯数は1市4町とも、年々増加しており、伴って世帯人員は減少傾向。</p> <p>○湯梨浜町では平成17年の自然・社会動態ともに増加していたが、それ以降はいずれも減少。その他の1市3町は近年5ヵ年においては、いずれも減少傾向。</p> <p>○圏域のうち、流入人口が流出人口を上回っているのは、倉吉市のみ。他の4町は流出過多。定住自立圏の合計では、若干の流出過多となっているが、倉吉市の人口流動よりも移動が少なく、圏域内の移動が活発であることがうかがえる。</p> <p>○倉吉市の昼夜間人口比率が100を超えている以外は、79.9～99.3と4町、定住自立圏のいずれにおいても流出過多の状況。</p> <p>○将来人口は、市町によって若干の差はあるものの、いずれにおいても今後も減少傾向であると推測される。人口流動を考慮しない「封鎖人口」と推計人口との比較では、30年後には約1.5万人の差が発生し、人口流出が今後の圏域の維持に大きく関わることがうかがえる。</p>				
医療	病院、診療所、医師数、歯科など医療基盤が最も整っている。	中部保健医療圏では連携体制の役割を果たす代表的な医療機関がある。歯科は少ない。小児科医、産婦人科医などが少ない。	診療所が点在するが、病床数が少ない。小児科医、産婦人科医などが少ない。	診療所、病床数は点在しているが、小児科医、産婦人科医などが少ない。	診療所、医師の数が少なく、圏域の中では最も医療機関の基盤が不足している。
	県内の病院における保健医療圏域ごとの患者住所地別の入院患者の状況については、東部及び西部では、いずれの病床も患者の90%以上が患者住所地の医療機関へ入院しているが、中部では一般病床及び精神病床の患者が他圏域で入院している割合が若干多くなっている。				
福祉	圏域内で比較すると軽度の要介護(要支援)認定者の割合が多い。圏域内で介護サービス基盤が最も整っている。保育所の受け入れ	圏域内では比較的、高齢者夫婦世帯、単身高齢者世帯の数が多。中度の要介護(要支援)認定者の割合が多い。介護サービス基盤	保育所の受け入れ状況は定員数には達していない状況。障害者手帳等所持者数は倉吉市に次いで2番目に多い。知的、精神の割合が他市町と比べて	圏域内では比較的、高齢者夫婦世帯の数が多。介護予防に関するサービス基盤は圏域内で比較すると少ない状況。保育所の受け入れ	認定率が圏域内では比較的高く、重度の要介護(要支援)認定者の割合が多い。保育所の受け入れ状況は定員数には達していない状況。

	<p>状況は定員数には達していない状況。障害者手帳等所持者数は最も多いが、サービス・施設ともに基盤が整っている。</p>	<p>は圏域内では少ない状況。保育所の受け入れ状況は定員数には達していない状況。障害者手帳等所持者数は最も少なく、サービス・施設ともに広域での対応が多い。</p>	<p>多く、自町内では居宅系サービスなどの基盤はあるが、の施設系サービスがやや少ない状況。</p>	<p>状況は定員数には達していない状況。障害福祉サービスは居宅系の基盤はあるが、の施設系サービスがやや少ない状況。</p>	<p>障害福祉サービスは居宅系の基盤はあるが、の施設系サービスがやや少ない状況。</p>
	<p>○居宅系の介護サービスは一定整えられているが、施設に関する待機者数は、東部・西部と比較すると少ないものの、約90名程度うかがえる。</p> <p>○子育て支援について、各市町内で不足しているサービス等は今後の事業量にて整備する方向。また、町で整備が難しいものは広域にて対応している。</p> <p>○障害福祉サービスについては、居宅系サービスは各市町にて基盤があるが、施設系や日中活動系のサービスは倉吉市に集中しており、広域での対応となっている。</p>				
教育	<p>高等教育機関の高校、専修学校、短期大学などの基盤がある。体育施設、文化・コミュニティ施設についても圏域の中心となる物から地域の公民館まで基盤が整っている。</p>	<p>幼稚園はなし。大学が1箇所。圏域で見ると、児童数に対して、小学校数が少ない。中学は生徒数に対して多い状況。高校が1箇所ある。体育施設、文化・コミュニティ施設についてはおおむね基盤が整っている。</p>	<p>圏域で見ると、児童数に対して、小学校数が少ない。中学は生徒数に対して多い状況。高校が1箇所ある。体育施設、文化・コミュニティ施設についてはおおむね基盤が整っている。</p>	<p>圏域で見ると、児童数に対して、小学校数が多い。体育施設、文化・コミュニティ施設についてはおおむね基盤が整っている。</p>	<p>圏域で見ると、児童数に対して、小学校数が少ない。高校が1箇所ある。体育施設、文化・コミュニティ施設についてはおおむね基盤が整っている。</p>
	<p>○小学校、中学校については、各市町で一定基盤が整えられている状況。高校は倉吉市、湯梨浜町、北栄町にあり、専修学校、短期大学などの高等教育機関は倉吉市に集中している。</p> <p>○体育施設、文化・コミュニティ施設についても、各市町それぞれおおむね基盤が整っている。</p>				
産業	<p>観光資源は白壁土蔵や里見八犬伝、多種多様な百選など豊富で、ブランドづくりまで進めている。就業者は農業、建設業、製造業、卸売・小売業、医療・福祉、サービス業が特に多い。</p>	<p>三徳山、温泉を中心とした魅力ある観光資源がある。就業者は農業が最も多くなっている。</p>	<p>公園や海水浴場、祭り、温泉など、ハワイがテーマとなる施設がある。ロハスによる水際空間の創出を進めている。就業者は農業（漁業）、製造業、卸売・小売業、医療・福祉が特に多い。</p>	<p>船上山や豊富な史跡など、歴史や自然を活かした観光資源がある。就業者は農業（漁業）、建設業、製造業、卸売・小売業、医療・福祉、サービス業が特に多い。</p>	<p>由良台場や北条砂丘、漫画キャラクターを活かした観光資源がある。ぶどう狩りや観光地引網なども進めている。就業者は農業、製造業、卸売・小売業、医療・福祉が特に多い。</p>
	<p>○観光資源は各市町において豊富にある。観光入込客数は年々やや減少傾向。</p> <p>○就業者数は農業（漁業）、建設業、製造業、卸売・小売業、医療・福祉が特に多く、主幹産業は第1次産業となっている。農業人口は年々減少、製造業の従業員数、製造品出荷額は近年では増加・横ばい傾向となっている。湯梨浜町、琴浦町、北栄町では小売業の従業員数、年間販売額が近年では増加・横ばい傾向となっている。</p>				
地域公共交通	<p>主な公共交通網としては、バス、JRとなっている。拠点であるバスセンターが存在する。また過疎地有償運送がある。住民アンケートでは、比較的バスやタクシーを利用する割合が多い。</p>	<p>主な公共交通網としては、バスとなっている（JRは無い）。バスは高速バス、路線バス、単独バスとなっている。住民アンケートでは、「自分で運転」「自家用車送迎」の割合が5割以上と圏内で最も多い。</p>	<p>主な公共交通網としては、バス、JRとなっている。バスは高速バス、路線バス、単独バスとなっている。住民アンケートでは、「自分で運転」「自家用車送迎」の割合が3割強。比較的、タクシーを利用する割合が多い。</p>	<p>主な公共交通網としては、バス、JRとなっている。バスは路線バス、町営バスとなっている。住民アンケートでは、比較的、町営バスやJRを利用する割合が多い。</p>	<p>主な公共交通網としては、バス、JRとなっている。バスは路線バスがあり、乗合タクシーもある。住民アンケートでは、JRを利用する割合が圏内で最も多い。</p>

	<p>○バスに関しては、路線バスやNPOでの有償運送や乗合タクシーなど、コミュニティに合った交通運営がなされている。三朝町のみ、鉄道に関する交通体系がない。</p> <p>○広域道路は、地域高規格道路やインターチェンジなどが整備されている(三朝町のみ、なし)。また、道の駅が各市町に整備されている。</p>				
地産地消	<p>○農畜産物や水産物は、各市町の特色を活かした品目が豊富にある。また、加工品も醤油や地酒なども多い。</p>				
移住・交流	<p>○空き家バンクの登録状況については倉吉市、琴浦町、北栄町で実施されており、比較的、琴浦町、北栄町で登録件数が多くなっている。</p>				
広報	<p>○広報については、広報誌やホームページなどによる情報発信がなされている。倉吉市では、メール配信サービスや地域 SNS、L 字情報サービス(三朝町も)なども実施している。</p> <p>○ケービステレビ加入率については倉吉市以外の4町では7割以上の加入率となっている。倉吉市は6割程度となっている。</p>				
人材	ボランティア、NPO 法人による活動が盛ん。特に、保健・医療・福祉やまちづくり、子どもの健全育成、文化・芸術スポーツ、環境保全などの分野で、幅広く活動されている。	保健・医療・福祉やまちづくりなどの分野で活動されているボランティア、NPO 法人が多い。	保健・医療・福祉や環境保全などの分野で活動されているボランティア、NPO 法人が多い。	保健・医療・福祉やまちづくり、社会教育、子どもの健全育成などの分野で活動されているボランティア、NPO 法人が多い。	まちづくりや保健・医療・福祉、環境保全、子どもの健全育成などの分野で活動されているボランティア、NPO 法人が多い。
	<p>○ボランティア、NPO 法人による活動において、最も多いのは、保健・医療・福祉の分野となっている。その他、まちづくり、環境保全、子どもの健全育成などが多い分野となっている。</p>				

(資料3)

倉吉市定住自立圏共生ビジョン懇談会（第2回：部会） 意見抽出シート

■現状において充足している（足りている）と感じるもの

●現状資料からみて、特に中部（各市町）での強みだと思ふもの。

■現状において充足していない（足りていない）と感じるもの

●現状資料からみて、特に中部（各市町）での弱みだと思ふもの。

■現状資料への追記など

●現状資料では、既存資料からの統計的な数値等が多くなっていますので、特に現場でご存知の各分野における人的資源や統計資料、数値などがございましたら、ご意見ください。

本資料につきましては第2回の部会で使用いたします。
可能であれば複写（コピー）を懇談会后、事務局にご提出ください。

(参考資料1)

倉吉市定住自立圏共生ビジョン懇談会部会設置要領

(設置)

第1条 倉吉市定住自立圏共生ビジョン懇談会（以下「懇談会」という。）における検討を補助するため、倉吉市定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱（平成22年3月31日倉吉市長決裁）第7条の規定に基づき、懇談会に医療・福祉・教育部会、産業振興・地産地消部会及び交通・移住・情報部会（以下「部会」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 部会は、定住自立圏共生ビジョン（以下「ビジョン」という。）の策定のために必要な事項を検討する。

(組織)

第3条 部会は、懇談会の委員のうちから、懇談会の会長（以下「会長」という。）が指名した委員（以下「部員」という。）で組織する。

2 部会に、部会長及び副部会長を置き、部員の互選によってこれを定める。

3 部会長は、部会を代表し、会務を総理する。

4 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故あるとき又は部会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第4条 部会は、部会長が招集し、部会長が議長となる。

2 部会は、部会長が必要と認めるときは、関係者に出席を求め、又は他の方法で意見及び説明を聴くことができる。

(庶務)

第5条 部会の庶務は、倉吉市総合政策室において処理する。

(その他)

第6条 この要領に定めるもののほか、部会の運営に関して必要な事項は、部会長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この要領は、平成22年9月24日から施行する。

(この要領の失効)

2 この要領は、ビジョンの策定の日限り、その効力を失う。

(参考資料2)

都市と農山漁村の共生・対流に関する世論調査

1. 調査目的

都市と農山漁村の共生・対流に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。

2. 調査項目

- (1) 都市と農山漁村の交流について
- (2) 農山漁村への滞在・二地域居住・定住について
- (3) 休暇の取得について
- (4) 学校での体験学習について
- (5) 企業の社会貢献について

3. 関係省庁

農林水産省

4. 調査対象

- (1) 母集団 全国 20 歳以上の者
- (2) 標本数 3,000 人
- (3) 抽出方法 層化 2 段無作為抽出法

5. 調査時期

平成 17 年 11 月 24 日～ 12 月 4 日

6. 調査方法

調査員による個別面接聴取

7. 調査実施委託機関

社団法人 中央調査社

8. 回収結果

(1) 有効回収数(率) 1,746 人(58.2%)

(2) 調査不能数(率) 1,254 人(41.8%)

－不能内訳－

転居	71	長期不在	38	一時不在	457
住所不明	61	拒否	586	その他	41

9. 性・年齢別回収結果

性・年齢		標本数	回収数	回収率	性・年齢		標本数	回収数	回収率
				%					%
男	20～29歳	210	84	40.0	女	20～29歳	192	83	43.2
	30～39歳	271	113	41.7		30～39歳	252	146	57.9
	40～49歳	237	112	47.3		40～49歳	251	153	61.0
	50～59歳	304	173	56.9		50～59歳	316	204	64.6
性	60～69歳	263	176	66.9	性	60～69歳	237	179	75.5
	70歳以上	209	151	72.2		70歳以上	258	172	66.7
計		1,494	809	54.1	計		1,506	937	62.2

■■■調査結果(単純集計)■■■

<1 都市と農山漁村の交流について>

Q1〔回答票1〕 あなたは、「都市と農山漁村の共生・対流」という取組を知っていますか。この中から1つだけお答えください。

- (5.1) (ア) そういう取組について聞いたことがあり、取組の内容も知っている
 - (15.6) (イ) そういう取組について聞いたことはあるが、取組の内容までは知らない
 - (73.8) (ウ) そういう取組について聞いたことがない
 - (5.6) (エ) わからない
-

Q2〔回答票2〕 あなたは、都市地域と農山漁村地域の間で相互に理解を深めるために、両者の間で交流を進めることが必要だと思いますか。それとも必要ないと思いますか。この中から1つだけお答えください。

- (49.4) (ア) 必要である
 - (28.9) (イ) どちらかという必要である
 - (4.2) (ウ) どちらかという必要ない
 - (3.4) (エ) 必要ない
 - (7.0) (オ) どちらともいえない
 - (6.9) (カ) わからない
-

Q3〔回答票3〕 あなたは、このような新しいライフスタイルに関心がありますか。この中から1つだけお答えください。

- (24.5) (ア) 関心がある
 - (27.9) (イ) どちらかという関心がある
 - (19.0) (ウ) どちらかという関心がない
 - (20.3) (エ) 関心がない
 - (6.3) (オ) どちらともいえない
 - (2.1) (カ) わからない
-

<2 農山漁村への滞在・二地域居住・定住について>

[F5で(ア)「都市地域」または(イ)「どちらかという都市地域」を選択した者に]
(農山漁村への滞在)

Q5[回答票6] あなたは、農山漁村地域に一時滞在する場合、どのような施設に宿泊したいと思いますか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(N=975)

- (41.3) (ア) ホテル・旅館
- (37.8) (イ) ペンション・民宿
- (22.4) (ウ) 農家(漁家)民宿
- (9.8) (エ) 友人・知人の住居
- (11.0) (オ) キャンプ場
- (26.9) (カ) 公共の宿泊施設
- (6.2) (キ) 別荘
- (5.5) (ク) 滞在するつもりはない
- (0.8) その他()
- (0.8) わからない

Q6[回答票7] あなたは、農山漁村地域に滞在中、何をして過ごしたいですか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(N=975)

- (58.1) (ア) 温泉
- (41.9) (イ) 観光地めぐり
- (18.7) (ウ) 稲刈りや野菜の収穫など
- (4.4) (エ) 植林や間伐など
- (22.1) (オ) 魚釣りや地引網など
- (19.1) (カ) そば打ちや乳製品などの加工品づくり
- (30.5) (キ) その地域の名物料理を食べる
- (13.7) (ク) わら細工、草木染めや陶芸、木工等の工芸品づくり

- (21.9) (ケ) 星空, ほたる観察
(40.9) (コ) 山歩き, 山野草観察
(9.8) (サ) ホエールウォッチング, イルカウォッチング
(16.4) (シ) スキー, 水泳などのスポーツ
(19.5) (ス) 地域の人たちとの交流・ふれあい
(3.9) (セ) 何もせずのんびり過ごす
(0.3) その他()
(1.8) わからない
-

Q7[回答票8] あなたは, 農山漁村地域に滞在する場合, その場所を決めるのどこから情報入手すると思いますか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)
(N=975)

- (32.0) (ア) 旅行会社の店にあるポスター, パンフレット, 案内書等
(32.8) (イ) テレビ, ラジオ
(34.3) (ウ) 新聞, 一般雑誌
(15.9) (エ) 新聞の折込広告
(28.8) (オ) 旅行雑誌, ガイドブック等
(30.9) (カ) インターネット等の旅行情報
(12.5) (キ) 観光案内所
(4.2) (ク) 電車, 地下鉄, バス等の中吊り広告
(33.4) (ケ) 家族, 友人, 知人等の紹介(口コミ)
(0.4) その他()
(2.5) わからない
-

Q8〔回答票9〕 一般的に考えて子どもと一緒に家族で連続3日以上農山漁村地域に滞在する場合の問題点は何だと思えますか。この中からいくつでもあげてください。

(M. A.)

(N=975)

(45.3) (ア) 親と子どもの休暇が合わない

(39.5) (イ) 親がまとまった休暇がとりにくい

(20.4) (ウ) 子どもが学校の授業のため、まとまった休みが取りにくい

(11.4) (エ) 子どもに部活動や習い事、地域の活動など他にさせたいことがある

(27.2) (オ) 交通費や滞在費が高い

(3.0) (カ) 海外など他に行きたいところや趣味やボランティアでしたいことがある

(5.2) (キ) 行ってみたい滞在先がない

(16.6) (ク) 農山漁村地域についての情報が少ない

(11.2) 特にない

(0.9) その他()

(5.0) わからない

(農山漁村地域への二地域居住)

Q9〔回答票 10〕 あなたは、平日は都市部で生活し、週末は農山漁村地域で生活するといった二地域での居住をしてみたいという願望がありますか。この中から1つだけお答えください。

(N=975)

(16.1) (ア) ある →SQ へ

(21.5) (イ) どちらかというところある →SQ へ

(14.5) (ウ) どちらかというところない →Q10 へ

(43.7) (エ) ない →Q10 へ

(0.8) (オ) すでに実践している →Q10 へ

(2.7) どちらともいえない →Q10 へ

(0.7) わからない →Q10 へ

[Q9で(ア)「ある」または(イ)「どちらかというところ」を選択した者に]

SQ[回答票 11] 都市と農山漁村地域での二地域居住の願望を実現するには、どのようなことが必要だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)
(N=367)

- (66.8) (ア) 時間的に余裕があること
- (27.5) (イ) 居住地の決定に必要な情報を入手できること
- (28.1) (ウ) 農山漁村地域の魅力がわかるような情報に接すること
- (34.1) (エ) 農山漁村地域の居住に必要な家屋、土地を安く入手できること
- (17.4) (オ) 空き家などの仲介・あっせん
- (16.1) (カ) 農山漁村地域に移動するための交通手段の整備
- (37.6) (キ) 医療機関(施設)の整備
- (27.5) (ク) 買い物、娯楽などの生活施設の整備
- (31.3) (ケ) 家族の理解・同意
- (20.2) (コ) 居住地を決定する前の体験ツアーのようなお試し滞在体験
- (19.3) (サ) 希望者が何かと相談できるサポート体制
- (13.1) (シ) 近所の干渉がなくプライバシーが保てる環境
- (3.0) その他()
- (0.8) 特になし
- (0.8) わからない

(農山漁村地域への定住について)

Q10[回答票 10] あなたは、農山漁村地域に定住してみたいという願望がありますか。この中から1つだけお答えください。
(N=975)

- (8.9) (ア) ある →SQ へ
- (11.7) (イ) どちらかというところ →SQ へ
- (13.9) (ウ) どちらかというところない →Q16 へ
- (62.1) (エ) ない →Q16 へ
- (3.0) どちらともいえない →Q16 へ
- (0.4) わからない →Q16 へ

[Q10で(ア)「ある」または(イ)「どちらかというところ」を選択した者に]

SQ[回答票 12] 農山漁村地域に定住する願望を実現するには、どのようなことが必要だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(N=201)

- | | |
|--|-------|
| (41.3) (ア) 居住地の決定に必要な情報全般を入手できること | →Q16へ |
| (26.4) (イ) 農山漁村地域の魅力がわかるような情報に接すること | →Q16へ |
| (43.3) (ウ) 農山漁村地域の居住に必要な家屋, 土地を安く入手できること | →Q16へ |
| (36.3) (エ) 就業に関する情報を入手できること | →Q16へ |
| (30.3) (オ) 空き家などの仲介・あっせん | →Q16へ |
| (11.4) (カ) 農山漁村地域に移動するための交通手段の整備 | →Q16へ |
| (43.8) (キ) 医療機関(施設)の整備 | →Q16へ |
| (31.8) (ク) 買い物, 娯楽などの生活施設の整備 | →Q16へ |
| (31.8) (ケ) 家族の理解・同意 | →Q16へ |
| (19.4) (コ) 居住地を決定する前の体験ツアーのようなお試し滞在体験 | →Q16へ |
| (21.4) (サ) 希望者が何かと相談できるサポート体制 | →Q16へ |
| (8.5) (シ) 近所の干渉がなくプライバシーが保てる環境 | →Q16へ |
| (4.5) その他() | →Q16へ |
| (2.0) 特になし | →Q16へ |
| (0.5) わからない | →Q16へ |
-

[F5で(ウ)「どちらかという農山漁村地域」または(エ)「農山漁村地域」を選択した者に]

(都市住民の一時滞在について)

Q11[回答票 13] あなたは、農山漁村地域に都市住民が3日程度訪れて滞在することをどう思いますか。この中から1つだけお答えください。

(N=641)

- | | | | |
|--------|-----|-------------------|-------|
| (38.7) | (ア) | 良いことだと思う | →SQへ |
| (30.9) | (イ) | どちらかという良いことだと思う | →SQへ |
| (7.6) | (ウ) | どちらかという良いことだと思わない | →Q12へ |
| (3.6) | (エ) | 良いことだとは思わない | →Q12へ |
| (13.6) | | どちらともいえない | →Q12へ |
| (5.6) | | わからない | →Q12へ |

[Q11で(ア)「良いことだと思う」または(イ)「どちらかという良いことだと思う」を選択した者に]

SQ[回答票 14] 農山漁村地域に都市住民がもっと訪れて滞在する機会を増やすにはどうすれば良いと思いますか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(N=446)

- | | | |
|--------|-----|----------------------------------|
| (43.5) | (ア) | 都市住民に農山漁村地域の魅力が伝わるように効果的に情報を発信する |
| (37.2) | (イ) | 宿泊施設や観光施設を増やす |
| (30.5) | (ウ) | 農山漁村地域に来るまでの交通手段を便利にする |
| (13.9) | (エ) | 農山漁村地域内での移動手段を確保する |
| (18.2) | (オ) | 農山漁村地域内での案内板などを整備する |
| (44.8) | (カ) | 農作業などを体験できる施設や指導できる人材を増やす |
| (39.2) | (キ) | 農山漁村地域住民と都市住民が交流できる場を提供する |
| (39.5) | (ク) | 地域ぐるみで協力し合い受入体制の整備を図る |
| (18.6) | (ケ) | 都市住民の受入に積極的な人を増やす |
| (0.2) | | その他() |
| (2.5) | | 特にない |
| (1.8) | | わからない |

<3 休暇の取得について>

(全員に聞く)

Q16[回答票 17] 「都市と農山漁村の共生・対流」のための社会実験が検討されています。これには、親のまとまった休みの取得、子ども達の夏休みの分散化、子どもと一緒にの場合の宿泊料金を比較的安く設定するといったことが検討されています。あなたは、家族で旅行ができるよう、企業は従業員がまとまった休暇を取ることを奨励すべきだと思いますか。それともそうは思いませんか。この中から1つだけお答えください。

- | | |
|------------------------------|--------|
| (46.4) (ア) 奨励すべきと思う | →SQa へ |
| (26.1) (イ) どちらかという奨励すべきと思う | →SQa へ |
| (6.4) (ウ) どちらかという奨励すべきと思わない | →SQb へ |
| (5.5) (エ) 奨励すべきと思わない | →SQb へ |
| (9.5) どちらともいえない | →Q17 へ |
| (6.1) わからない | →Q17 へ |

[Q16 で(ア)「奨励すべきと思う」または(イ)「どちらかという奨励すべきと思う」を選択した者に]

SQa[回答票 18] 奨励すべきと思う理由は何ですか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(N=1,266)

- | | |
|---------------------------------------|--------|
| (26.4) (ア) 従業員の計画的な休暇の取得を促進することは企業の責務 | →Q17 へ |
| (57.4) (イ) 従業員がリフレッシュすることで、仕事の能率も向上する | →Q17 へ |
| (47.2) (ウ) 従業員と家族とのつながりが深まる | →Q17 へ |
| (47.8) (エ) 子どもの育成のために必要 | →Q17 へ |
| (22.0) (オ) 社会全体への経済効果が期待できる | →Q17 へ |
| (0.1) その他() | →Q17 へ |
| (0.9) 特にない | →Q17 へ |
| (0.7) わからない | →Q17 へ |

〔Q16で(ウ)「どちらかという奨励すべきと思わない」または(エ)「奨励すべきと思わない」を選択した者に〕

SQb〔回答票 19〕 奨励すべきと思わない理由は何ですか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(N=208)

- (23.1) (ア) 仕事が忙しすぎて休めない
- (26.9) (イ) 家族の休暇が合わせられると思わない
- (34.1) (ウ) 休みがあっても経済的余裕がない
- (6.3) (エ) 休んでも行きたいところが特にない
- (13.9) (オ) 留守中に家族の世話などがあり、家を空けることができない
- (24.5) (カ) ゴールデンウィークや3連休などがあり現行の休暇で十分である
- (31.3) (キ) 家族旅行のための休暇を取得するかどうかは従業員の自由である
- (3.4) その他()
- (6.3) 特にない
- (1.9) わからない

Q17〔回答票 20〕 小中学校の休みについてお聞きします。

年間の授業の総日数と休暇の総日数が変わらないという前提で、答えて下さい。

現在、小中学校の長期休業日は、各教育委員会か各学校が各地域の特性に応じて、決めることになっています。

あなたは、家族旅行をよりしやすくするため、小中学校の休みの時期と日数をどうしたら良いと思いますか。小中学生のお子様がいらっしゃらない方は、小中学生の子どもがいると仮定して、この中から1つだけお答えください。

- (16.8) (ア) 夏休みを少し短くし、その分、冬休みや春休みを長くするべき →SQa へ
- (13.1) (イ) 地域ごと又は学校ごとに休みの時期をずらすべき →SQa へ
- (57.8) (ウ) 現状の夏休みや土日を活用すれば十分であって、家族旅行のために学校の休みを変える必要はない →SQb へ
- (0.6) その他() →Q18 へ
- (11.7) わからない →Q18 へ

[Q17で(ア)「夏休みを少し短くし、その分、冬休みや春休みを長くするべき」または(イ)「地域ごと又は学校ごとに休みの時期をずらすべき」を選択した者に]

SQa[回答票 21] そうすべきと思う理由は何ですか。この中から1つだけお答えください。

(N=522)

- (35.1) (ア) 休みが分散され、旅行等に行く際、交通混雑が解消される →Q18へ
- (14.8) (イ) 交通費や宿泊費などが繁忙期に比べて安い時期に家族旅行をしやすくなる →Q18へ
- (37.7) (ウ) 家族での旅行計画を立てやすくなる →Q18へ
- (7.9) (エ) 天候がよい時期に旅行ができる →Q18へ
- (1.9) その他() →Q18へ
- (2.7) わからない →Q18へ

[Q17で(ウ)「現状の夏休みや土日を活用すれば十分であって、家族旅行のために学校の休みを変える必要はない」を選択した者に]

SQb[回答票 22] 現状の夏休みや土日を活用すれば十分である理由は何ですか。この中から1つだけお答えください。

(N=1,009)

- (32.2) (ア) そもそも保護者の休暇が取りにくい
- (5.6) (イ) 休みをずらしても子どもに部活動や習い事、地域の活動など他にさせたいことがある
- (20.0) (ウ) 今の休みの時期と日数は、子どもの勉強環境を考えると日本の気候にあっている
- (2.5) (エ) 転校等の場合に、学校によって休みがずれるのは不安
- (30.3) (オ) 今でも十分家族旅行等ができています
- (1.5) その他()
- (6.0) 特になし
- (1.9) わからない

Q18[回答票 23] 「家族旅行をするために子どもを平日休ませる」という考え方と「家族旅行をするためには学校は休ませない」という考え方のうち、あなたの考え方に近いのはどちらですか。この中から1つだけお答えください。

- | | | | |
|--------|-----|---|--------|
| (8.8) | (ア) | 「家族旅行をするために子どもを平日休ませる」という考え方に近い | →SQa へ |
| (9.6) | (イ) | どちらかというど「家族旅行をするために子どもを平日休ませる」という考え方に近い | →SQa へ |
| (33.2) | (ウ) | どちらかというど「家族旅行をするためには学校は休ませない」という考え方に近い | →SQb へ |
| (40.6) | (エ) | 「家族旅行をするためには学校は休ませない」という考え方に近い | →SQb へ |
| (3.9) | | どちらともいえない | →Q19 へ |
| (0.1) | | その他() | →Q19 へ |
| (3.9) | | わからない | →Q19 へ |
-

[Q18 で(ア)『「家族旅行をするために子どもを平日休ませる」という考え方に近い』または(イ)『どちらかというど「家族旅行をするために子どもを平日休ませる」という考え方に近い』を選択した者に]

SQa[回答票 24] あなたは何日程度なら子どもを平日に休ませるという考え方ですか。この中から1つだけお答えください。

(N=320)

- | | | | |
|--------|-----|-------------------|--------|
| (14.4) | (ア) | 休日と併せ、1週間程度なら休ませる | →Q19 へ |
| (20.9) | (イ) | 1日なら休ませる | →Q19 へ |
| (64.1) | (ウ) | 2日から3日なら休ませる | →Q19 へ |
| (0.3) | | その他() | →Q19 へ |
| (0.3) | | わからない | →Q19 へ |
-

Q20〔回答票 27〕 学校で農山漁村地域での体験学習に取り組む場合、心配なことは何ですか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

- (18.6) (ア) 国語や算数・数学といった教科の学習の時間が少なくなる
 - (22.1) (イ) 親の経済的負担の増加
 - (26.8) (ウ) ケガなどの事故がおきる
 - (10.4) (エ) 子どもの健康面に問題が生じる
 - (10.1) (オ) 宿泊を伴う場合、学校外の活動(習い事など)に参加できないことがある
 - (0.9) その他()
 - (32.4) 特にない
 - (5.9) わからない
-

<5 企業の社会貢献について>

Q21〔回答票 28〕 企業や事業所が農山漁村との交流や農村の活性化に協力している場合、その企業・事業所に対してどういう印象を持ちますか。この中から1つだけお答えください。

- (46.3) (ア) 良い印象を持つ
 - (38.0) (イ) どちらかというが良い印象を持つ
 - (0.8) (ウ) どちらかというが悪い印象を持つ
 - (0.5) (エ) 悪い印象を持つ
 - (9.2) どちらともいえない
 - (5.3) わからない
-

Q22〔回答票29〕 最近、企業の社会的貢献に関心が寄せられています。企業の農山漁村に関する協力のうち、どれに対する協力が社会貢献と感じますか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

- (59.3) (ア) 植林・間伐など、森林を守る活動
- (27.6) (イ) 棚田などの農地の保全・再生活動
- (41.8) (ウ) 耕作放棄された農地などの再生活動
- (36.3) (エ) 農山漁村地域の伝統文化の保全・再生活動
- (47.2) (オ) 水辺環境の保全活動(河川, 湖沼)
- (33.8) (カ) 浜辺環境の保全活動(海岸)
- (0.2) その他()
- (11.0) わからない